

平成30年度

福島県産業廃棄物排出処理状況確認調査業務報告書

(平成29年度実績)

平成31年3月

福 島 県



## 目 次

第1章 調査の概要.....	1
1.1 調査の目的.....	1
1.2 調査の内容.....	1
1.3 各報告書の報告状況.....	2
1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理.....	3
1.5 調査に関する基本的な事項.....	6
第2章 調査結果の概略.....	9
2.1 平成29年度の産業廃棄物の排出状況.....	9
2.2 平成29年度の産業廃棄物の処理状況.....	12
2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況.....	15
2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況.....	16
2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果.....	17
2.6 東北地方太平洋沖地震及び大津波による産業廃棄物の排出量の経年変化.....	20
第3章 産業廃棄物処理業者の実績.....	23
3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要.....	23
3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理.....	27
3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分.....	33
第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績.....	39
4.1 多量排出事業者等における報告状況.....	39
4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性.....	41
第5章 産業廃棄物の処理状況.....	44
5.1 再生利用状況.....	44
5.2 最終処分の状況.....	47
第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析.....	50
6.1 データ整備等の内容.....	50
6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況.....	51
6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成.....	53
参考データ.....	55



## 第1章 調査の概要

### 1.1 調査の目的

本調査は、平成29年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書を基に、福島県における平成29年度の産業廃棄物の排出等実態を推計し、平成29年度の排出・処理を解析することにより、県内の産業廃棄物の排出抑制及び適正処理の促進に活用することを目的とした。

### 1.2 調査の内容

#### 1 報告書データの電子化及びデータの整理

平成29年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）の電子化を行った。

電子化された各書式の記入内容のチェック、各様式間における整合性のチェックを行い、記入不備等のデータの整備を行った。

#### 2 産業廃棄物の物流情報の整理、分析

1.2.1のデータを基に、平成29年度における福島県の産業廃棄物の排出及び処理情報（県外からの移入、県外への移出も含む）を整理、分析を行った。

#### 3 産業廃棄物の排出・処理量の推計及び廃棄物処理計画の進行管理状況の分析

1.2.1の結果等から、平成29年度の産業廃棄物の排出・処理量の推計を行うとともに、推計結果と福島県廃棄物処理計画（平成27年3月）で定めた目標値の達成状況やその分析を行い、計画の進捗状況のとりまとめを行った。

#### 4 最終処分場残余年数の推定

1.2.1のデータ及び過去の同データを基に、県内の最終処分場残余年数を推計した。

#### 5 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の電子化及び集計解析

排出事業者から提出された平成29年度の産業廃棄物管理票交付状況報告書及び電子マネーフレスト登録等状況報告書を基に、排出事業者の台帳の作成及び廃棄物の排出・処理状況の集計・解析を実施した。

#### 6 資源化状況の解析

1.2.1のデータを基に、廃棄物種類ごとに資源化用途及び利用先業種（素材産業等）を整理し、資源化推進施策となる基礎情報を作成した。

## 7 汚染廃棄物の処理・処理状況等の把握

1.2.1 のデータを基に、放射性物質に汚染された廃棄物の発生状況、発生量、保管量、処分量等の現状等を把握、集計し、福島県廃棄物処理計画進行管理システムに登録した。

## 8 「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」の更新等

1.2.1 のデータを基に、現行の「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」のデータを更新するとともに、1.2.2、1.2.3 の分析等がシステム上で行えるよう分析ツールを更新した。

### 1.3 各報告書の報告状況

平成 29 年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）の報告状況は、表 1-1 のとおりである。

産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書は、処分業者及び収集運搬業 2,846 件、排出事業者（多量（指定）排出事業者・施設設置事業者）398 件となっている。

また、捕捉調査として実施した鉱業からの報告は、14 件となっている。

表 1-1 報告者属性別・所管別の報告数、報告状況

	処分業者及び収集運搬業者		多量排出事業者等・施設設置者		鉱業	
	報告数	うち電子報告数	報告数	うち電子報告数	報告数	うち電子報告数
福島県	2,574	1,074	273	195	9	4
福島市	9	7	19	15	0	0
郡山市	61	27	44	31	0	0
いわき市	202	77	62	46	5	2
計	2,846	1,185	398	287	14	6

注 1) 表中の「電子報告数」とは、報告書を電子メール及びその他電子媒体で提出されたものである。

注 2) 同一企業が県と市の両方で報告している場合は、福島県に集計している。

## 1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理

### 1 産業廃棄物処理業者の報告書の整理

#### (1) 物流情報の整理

平成 29 年度実績として提出された産業廃棄物処理業者の実績報告書の情報について、廃棄物の種類、量、委託者（排出事業者）及び所在地、処分業者名及び処分方法、処分先所在地等を整理した。

更に、排出事業者及び所在地と処分業者及び所在地の関係から、表 1-2 に示す物流コードに基づきとりまとめた。

なお、委託者の排出事業者と業者（中間処理残さ物を委託）の識別は、「委託者の名称と所在地」と「県内の中間処理業者と処理施設所在地」のマッチングを行った。

表 1-2 物流フローの整理内容

情報ソース	流れ	処分 区分	物流コード(委託者)			備考
			事業者	業者	自社	
処分業者の 報告	県内→県内	中間	A	ア	サ	
	県内→県内	最終	B	イ	シ	
	県外→県内	中間	C	ウ		
	県外→県内	最終	D	エ		
収集運搬業 者の報告	県内→県外	中間	E	カ	ソ	
	県内→県外	最終	F	キ	タ	
	県内→県内	中間	Q	R		A、アとの重複情報のため集計しない
	県内→県内	最終	S	T		B、イとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	中間	U	V		C、ウとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	最終	W	X		D、エとの重複情報のため集計しない

#### (2) 排出事業者の産業分類（業種）の整備

(1)の物流情報で整理した事業者（産業廃棄物排出事業者）及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整備した。

## 2 排出事業者の産業分類（業種）の整備

1.4.1 の物流情報で整理した事業者（産業廃棄物排出事業者）及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整備した。

## 3 事業者の報告書の整備

平成 29 年度の実績として提出された、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に基づく多量排出事業者の実績報告及び福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例（以下、「適正化条例」という。）に基づく指定排出事業者の実績報告の情報は、事業者の業種、廃棄物の種類、量、処分方法等を整備した。

## 4 産業廃棄物の排出量・処理量の推計

産業廃棄物の発生量及び処理量は、産業廃棄物排出事業者からの発生量と、自社処理量及び委託処理量で構成される。

### (1) 委託処理の状況

産業廃棄物処理業者の受託処理実績から把握した。

### (2) 自社処理の状況

自社で完結（委託に回らない）する処理は、売却又は自社利用、自社埋立である。これらの処理を行う事業者の大部分は、廃棄物処理法に基づく多量排出事業者及び適正化条例に基づく指定排出事業者であると仮定すると、それらの排出事業者からの報告データで推計することができる。推計方法の概略は、図 1-1 のとおり。

なお、(1)及び(2)情報から把握できない要因を整理し、捕捉調査を実施した。

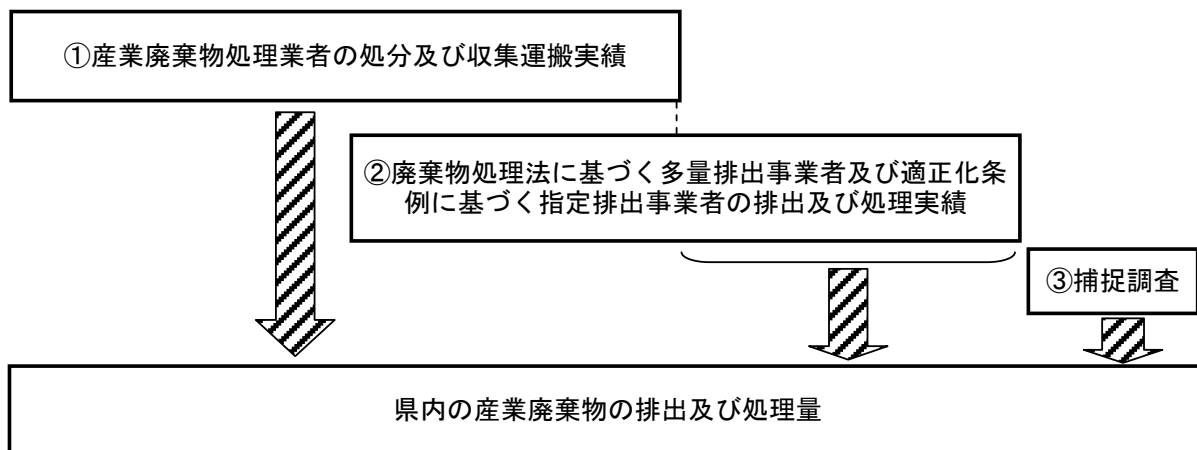


図 1-1 産業廃棄物の排出・処理量の推計方法の概略



① 産業廃棄物処理業者の処分及び収集運搬実績

排出事業者から排出された産業廃棄物のうち、県内又は県外の間処理又は最終処分業者による産業廃棄物の処理実績から、委託者（排出事業者）を整理し、処理フローを作成した。

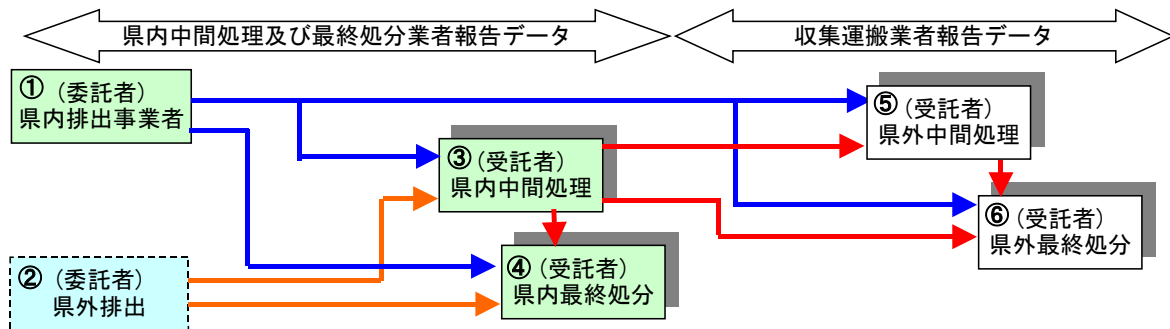


図 1-2 処分実績及び収集運搬実績データからの処理フロー作成概念図

② 排出事業者の排出及び処理実績

廃棄物処理法に基づく多量排出事業者及び適正化条例に基づく指定排出事業者より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者による自己処理で処理が完結している自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量について、処理フローを作成した。

③ 捕捉調査

①、②の情報から十分に把握できない、鉱業からの汚泥（砂利等の採取事業所内で脱水処理され現場内再利用等が行われているもの等）については、アンケート調査を実施し情報を補完した。

## 1.5 調査に関する基本的な事項

### 1 地区区分

本調査における本県の地区区分は、表 1-3 に示すとおりとした。

表 1-3 地区区分

	地区名	構成市町村
T1	県北地区	二本松市、伊達市、本宮市 伊達郡（桑折町、国見町、川俣町） 安達郡（大玉村）
T2	県中地区	須賀川市、田村市 岩瀬郡（鏡石町、天栄村） 石川郡（石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町） 田村郡（三春町、小野町）
T3	県南地区	白河市 西白河郡（西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町） 東白川郡（棚倉町、矢祭町、埜町、鮫川村）
T4	会津地区	会津若松市、喜多方市 耶麻郡（猪苗代町、北塩原村、西会津町、磐梯町） 河沼郡（会津坂下町、湯川村、柳津町） 大沼郡（会津美里町、三島町、金山町、昭和村）
T5	南会津地区	南会津郡（南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町）
T6	相双地区	相馬市、南相馬市 双葉郡（広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村） 相馬郡（新地町、飯舘村）
TA	郡山市	郡山市
TB	いわき市	いわき市
TC	福島市	福島市

※福島市は、平成 30 年 4 月 1 日に中核市に移行したため、地区区分も県北地区から外れて単独で表示することとした。

## 2 調査対象産業廃棄物

調査対象産業廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に定める次の産業廃棄物とした。

①燃え殻、②汚泥、③廃油、④廃酸、⑤廃アルカリ、⑥廃プラスチック類、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩動植物性残さ、⑪動物系固形不要物、⑫ゴムくず、⑬金属くず、⑭ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず〔注、本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した〕⑮鉱さい、⑯がれき類、⑰ばいじん、⑱動物のふん尿、⑲動物の死体、⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの〔注、本報告書における図表では「13号廃棄物」と略した〕  
※上記以外の種類に分類できない廃棄物は、「その他産業廃棄物」とした。

また、次に示す有償物、廃棄物等については下記の取り扱いとした。

ア 有償で売却されるものであっても今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるものについては、産業廃棄物として今回の調査対象に含めた。（例 金属スクラップ及び火力発電所から発生する脱硫石膏等）

有償で売却された量は、多量排出事業者等から提出される実績報告書の有償物量の欄を計上している。

イ 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物、動物のふん尿、動物の死体が産業廃棄物に該当する要件が、廃棄物処理法で、排出事業者の業種が指定されているため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物、動物のふん尿、動物の死体については、原則として事業系一般廃棄物とし、調査対象から除外した。

ウ 酸性又はアルカリ性を呈する廃水を公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、当該廃水を除外し、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を発生量とした。

エ 廃棄物を自己焼却処理する場合は、燃え殻等の発生量ではなく焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

## 3 産業廃棄物の種類の区分

中間処理により廃棄物の種類が変化する場合、本調査では変化後の種類で記載した場合には、（処分時点）又は（再生利用時点）と記載した。

例 木くず→（焼却）→燃え殻（中間処理前の種類及び中間処理方法から推定）  
（最終処分量の解析の際に、燃え殻（処分時点）と記載。）

#### 4 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（平成 25 年 10 月改訂、総務省）に記載されている区分を基本にして、表 1-4 のとおりとした。なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表 1-4 調査対象業種

日本標準産業分類		略称
A	農業，林業 農業 林業	農業・林業 農業 林業
B	漁業	漁業
C	鉱業，採石業，砂利採取業	鉱業
D	建設業	建設業
E	製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他製造業
F	電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業	電気・ガス・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業
G	情報通信業	情報通信業
H	運輸業，郵便業	運輸・郵便業
I	卸売業，小売業	卸・小売業
J	金融業，保険業	金融・保険業
K	不動産業，物品賃貸業	不動産業・物品賃貸業
L	学術研究，専門・技術サービス業	専門サービス業
M	宿泊業，飲食サービス業	宿泊業・飲食サービス業
N	生活関連サービス業，娯楽業	生活サービス業
O	教育，学習支援業	教育・学習支援業
P	医療，福祉	医療・福祉業
Q	複合サービス業	複合サービス業
R	サービス業	サービス業
S	公務	公務

## 第2章 調査結果の概略

### 2.1 平成29年度の産業廃棄物の排出状況

排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の排出量は、図2-1～図2-2、表2-1のとおりである。

平成29年度における産業廃棄物の排出量7,844千トンを経業種別にみると、製造業が2,816千トンで最も多く、次いで、電気・ガス・水道業が2,579千トン、建設業が2,116千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、汚泥が3,496千トンで最も多く、次いで、がれき類が1,720千トン、ばいじんが1,536千トンとなっている。

各産業廃棄物の主な排出元となる業種は、汚泥は製造業及び電気・ガス・水道業、がれき類は建設業、ばいじんは電気・ガス・水道業となっている。

東日本大震災発生前（平成19年度～平成22年度）において、県内の産業廃棄物の排出量は、減少傾向を示していた。

平成23年度の排出量は、東日本大震災の影響により、復旧・復興工事に伴うがれき類の排出量が増加したものの、石炭火力発電所の稼働停止によりばいじんの排出量が減少したこと、下水道業からの汚泥の排出量が減少したことにより、平成22年度と比較して大幅な減少となった。

平成24年度～平成27年度においては、石炭火力発電所の稼働再開によりばいじんの排出量が増加し、また、復旧・復興工事により建設業の排出量が増加したため、震災発生前と同程度まで排出量が増加した。

平成28年度に一度減少した排出量は、平成29年度に再び増加しており、主要な業種と種類は平成28年度と比べて全て増加している。

経済動向等をみると、製造業の生産指数や電気業（火力発電所）の発電電力量、建設業の除却建築物床面積が平成28年度より増加していることなどから（10ページ下段参照）、平成29年度は、企業活動が活発となり、産業廃棄物の排出量も増加したと推測される。

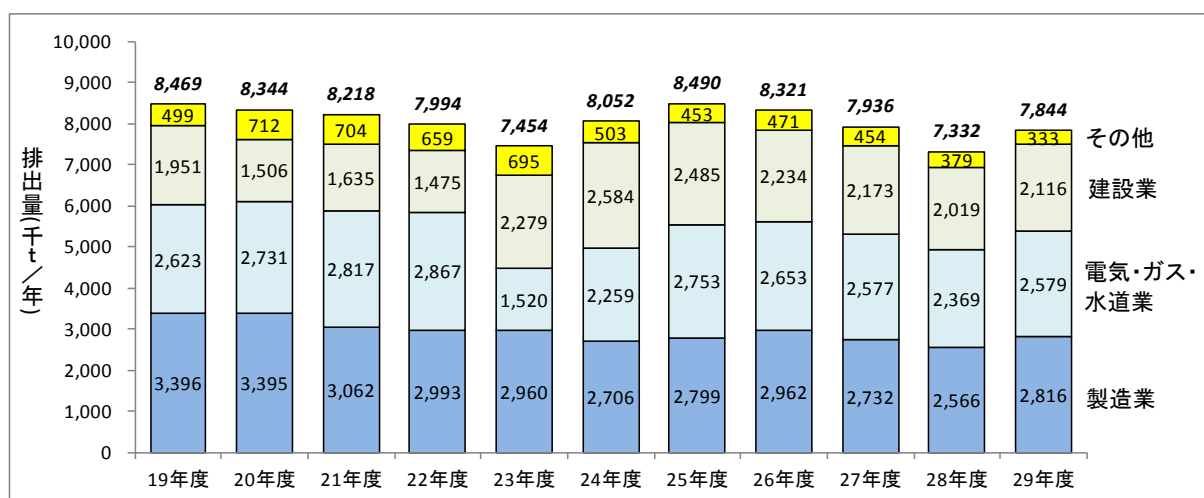


図2-1 排出事業者の業種別産業廃棄物排出量の推移

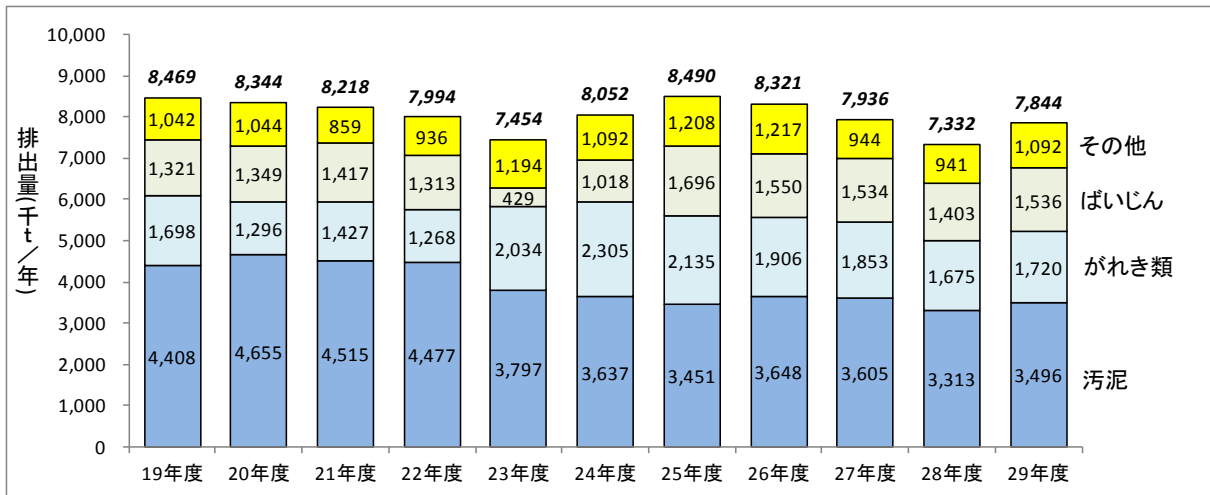


図 2-2 産業廃棄物の種類別排出量の推移

表 2-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の排出量

(単位: 千t/年)

業種 種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	7,844 (100%)	162 (2%)	2,116 (27%)	2,816 (36%)	2,579 (33%)	7 (0%)	7 (0%)	7 (0%)	130 (2%)	21 (0%)
燃え殻	165 (2%)		13	7	143	0	0	0	1	0
汚泥	3,496 (45%)	162	71	2,320	905	0	1	1	33	4
廃油	31 (0%)		1	18	0	0	0	0	10	1
廃酸	23 (0%)		0	17	0	0	0	0	6	0
廃アルカリ	94 (1%)		1	81	0	0	0	0	11	0
廃プラスチック類	141 (2%)	0	36	68	0	1	4	1	28	2
紙くず	6 (0%)		4	2						0
木くず	196 (2%)		192	4		0	0		0	0
繊維くず	2 (0%)		2							
動植物性残さ	18 (0%)			18						
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)			0						
金属くず	34 (0%)		16	8	0	0	0	0	8	1
ガラス陶磁器くず	163 (2%)	0	33	99	5	5	1	1	13	6
鉱さい	167 (2%)		5	130	30		0		3	0
がれき類	1,720 (22%)		1,717	1	0				2	0
ばいじん	1,536 (20%)		0	41	1,495			0	0	0
動物のふん尿	7 (0%)									7
その他	45 (1%)		25	2	0	0	0	3	14	0

\*表中の空欄は該当値がないもの、「0」表示は500 t/年未満のもの。以下の図表において同じ。

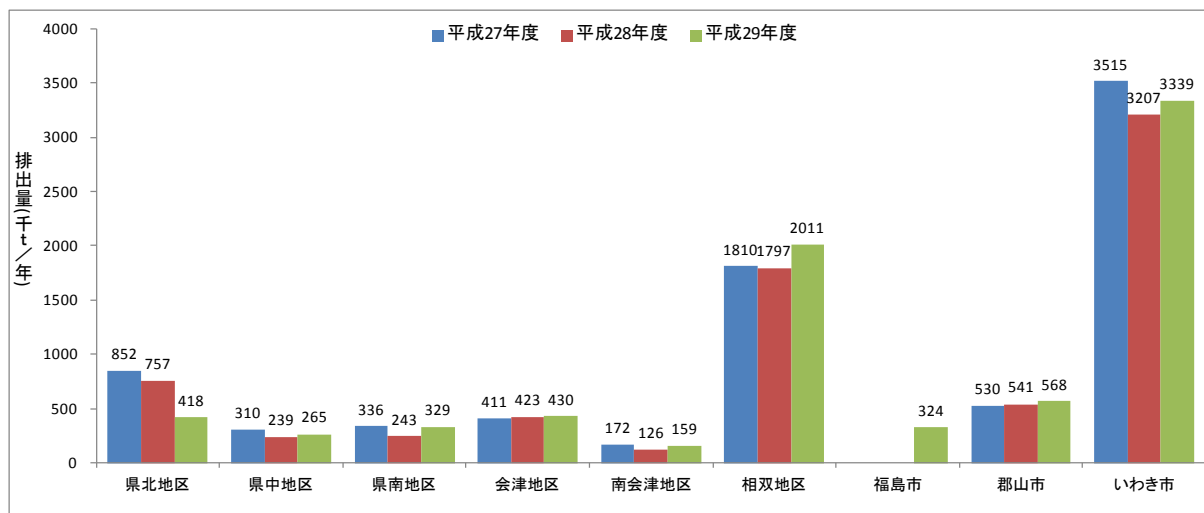
【参考】					
業種	経済指標等	H28	H29	増減	出典等
製造業	製造工業生産指数 (H22=100)	85.0	85.2	+0.2	福島県統計課 「福島県鉱工業指数年報」
電気業	発電電力量 (GWh)	48,459	49,125	+666	資源エネルギー庁 「電力調査統計」
建設業	除却建築物の床面積 (万 m <sup>2</sup> )	42.4 15.0	60.4 21.6	+18.0 +6.6	国土交通省「建築物減失統計調査」、上段は木造、下段は非木造

産業廃棄物の地区別排出量は、図 2-3、表 2-2 のとおりである。

排出量を地区別にみると、いわき市が 3,339 千トンで最も多く、次いで、相双地区が 2,011 千トン、以下、郡山市が 568 千トン、会津地区が 430 千トン、県北地区が 418 千トン、県南地区が 329 千トン、福島市が 324 千トン、県中地区が 265 千トン等となっている。

いわき市は、製紙業や化学工業の大規模工場があり、汚泥の排出量が多くなっている。また、人口が多いために、下水道汚泥や建築・道路工事に伴うがれき類等の日常生活に密着した産業廃棄物も多くなっている。

相双地区は、石炭火力発電所から発生するばいじんの排出量が多くなっている。



※福島市が平成 30 年 4 月 1 日に中核市に移行したため、平成 29 年度実績から単独で表示している。  
 県北地区の排出量には、平成 27 年度及び平成 28 年度は福島市の排出量を含んでいるが、平成 29 年度分には含めていない。

図 2-3 産業廃棄物の地区別排出量の推移

表 2-2 産業廃棄物の地区別排出量

種類	地区									
	計	県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	福島市	郡山市	いわき市
合計	7,844 (100.0%)	418 (5.3%)	265 (3.4%)	329 (4.2%)	430 (5.5%)	159 (2.0%)	2,011 (25.6%)	324 (4.1%)	568 (7.2%)	3,339 (42.6%)
燃え殻	165	0	0	1	12	0	118	0	2	32
汚泥	3,496	212	43	93	164	26	155	66	318	2,417
廃油	31	2	3	3	4	0	4	2	4	9
廃酸	23	2	1	2	4	0	2	0	4	8
廃アルカリ	94	3	3	7	16	0	14	19	12	20
廃プラスチック類	141	17	9	24	7	1	16	12	13	42
紙くず	6	0	1	1	0	0	1	2	1	1
木くず	196	7	33	22	23	11	32	11	19	38
繊維くず	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
動植物性残さ	18	2	3	2	0		0	7	4	0
動物系固形不要物										
ゴムくず	0		0					0		
金属くず	34	7	4	2	1	1	4	2	6	7
ガラス陶磁器くず	163	12	15	9	16	3	38	21	8	40
鋳さい	167	47	19	23	17	0	3	20	2	36
がれき類	1,720	98	128	136	159	116	396	157	170	359
ばいじん	1,536	1	0	1	1	0	1,211	0		322
動物のふん尿	7	5		2						
動物の死体	0									0
その他産業廃棄物	45	2	4	1	5	0	16	4	5	8

## 2.2 平成 29 年度の産業廃棄物の処理状況

平成 29 年度に発生した産業廃棄物の処理フローは、**図 2-4** のとおりである。

排出量 7,844 千トンのうち、96%に当たる 7,495 千トン（中間処理量）が排出事業者または産業廃棄物処理業者による脱水、焼却等の中間処理がなされて、そのうち 3,343 千トン（減量化量）が減量された。

中間処理後の再生利用量（3,904 千トン）と排出事業者等での直接再生利用量（52 千トン）を合わせた再生利用量は、排出量の 50%に当たる 3,956 千トンとなっている。

直接最終処分量と中間処理後の最終処分量を合わせた最終処分量は 544 千トンで、排出量の 7%となっている。

なお、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境汚染等の影響により中間処理後に処分されず保管されている保管量は 1 千トンとなっている。（本数値は、本調査で把握したなかで指定廃棄物を除いたものであり、実際の量は 1 千トンよりも多い可能性がある。）

平成 28 年度と比較して平成 29 年度の再生利用量は 279 千トン増加（再生利用率は同）、最終処分量は 73 千トン増加（最終処分率 1 ポイント増加）となっている。

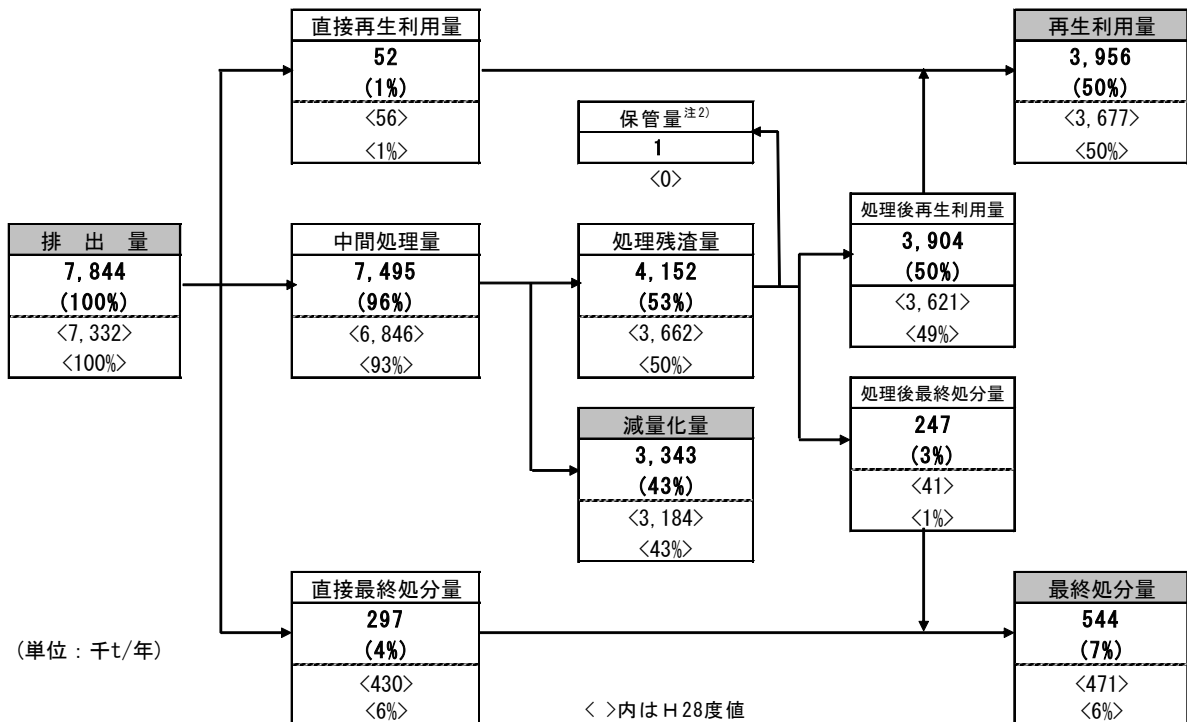


図 2-4 産業廃棄物の処理フロー

注 1) ( )内の数値は排出量に占める割合で、端数処理の関係により割合の合計が 100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

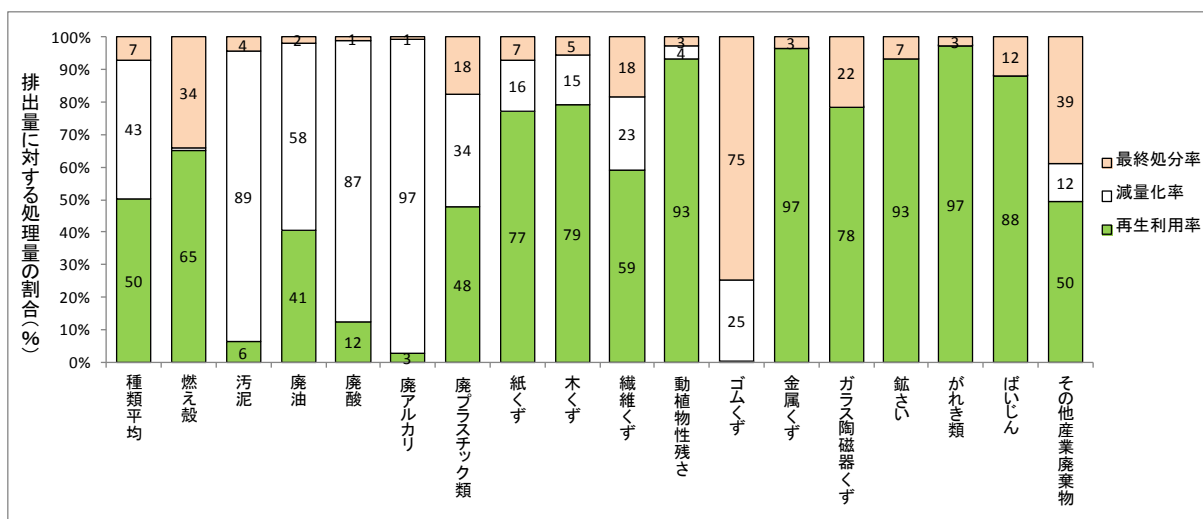
注 2) 保管量は、排出事業者および業産業廃棄物処理業者に対して実施したアンケート調査等結果から、定量化できたものを集計したもの。以下の図表において同じ。



産業廃棄物の種類別の処理区分をみると、**図 2-5** のとおりである。

種類ごとに処理率をみると、汚泥、廃酸、廃アルカリは減量化される割合が高く、動植物性残さ、金属くず、鉱さい、がれき類は再生利用率が高くなっている。

一方で、燃え殻、ゴムくず、その他産業廃棄物（混合物等）は、最終処分率が高くなっている。



※図中の構成比 (%) の数値は、四捨五入しているため合計が 100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

**図 2-5 産業廃棄物の種類別の処理区分**

なお、産業廃棄物の処理状況を詳細にみたフローは、**図 2-6** のとおりである。



### 2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況

福島県廃棄物処理計画（平成27年3月）では、平成32年度における目標値をそれぞれ「排出量（825万トン以下）」、「再生利用率（51%以上）」、「最終処分率（8%以下）」とし、達成状況の進行管理をしている。

この目標値に対する実績値は、図2-7及び図2-8のとおりである。

平成29年度実績を目標値と比較すると、排出量（平成29年度:7,844千トン）と最終処分率（同:7%）の目標値は達成しているが、再生利用率（同:50%）については、目標値を達成していない。

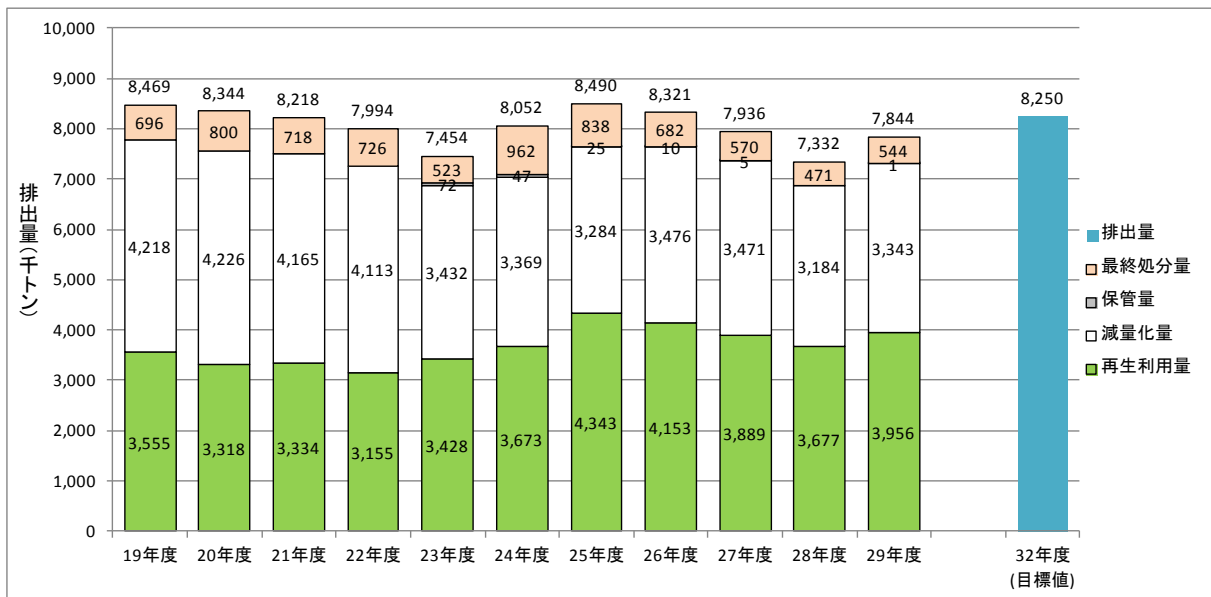


図 2-7 福島県廃棄物処理計画の達成状況（排出量）

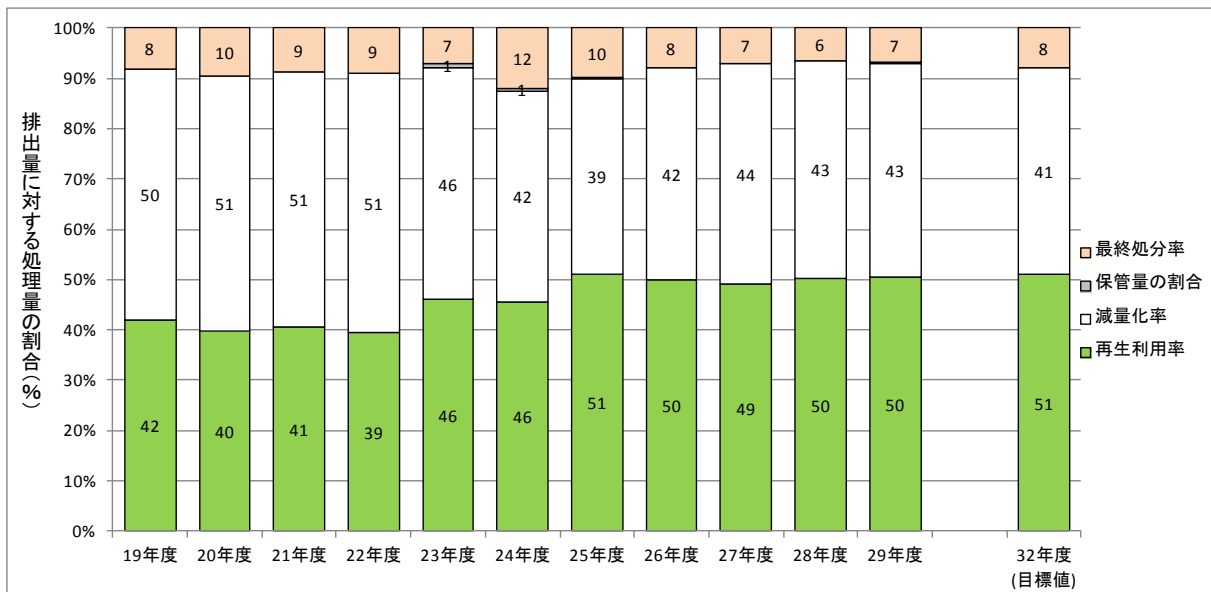


図 2-8 福島県廃棄物処理計画の達成状況（再生利用率・最終処分率）

## 2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況

平成 29 年度の県内の産業廃棄物処理業者による中間処理実績及び最終処分実績を地区別にみると図 2-9 及び図 2-10 のとおりである。

産業廃棄物処理業者の中間処理実績を地区別にみると、いわき市が多くなっている。

産業廃棄物処理業者の最終処分実績を地区別にみると、いわき市、相双地区、県北地区が多くなっている。

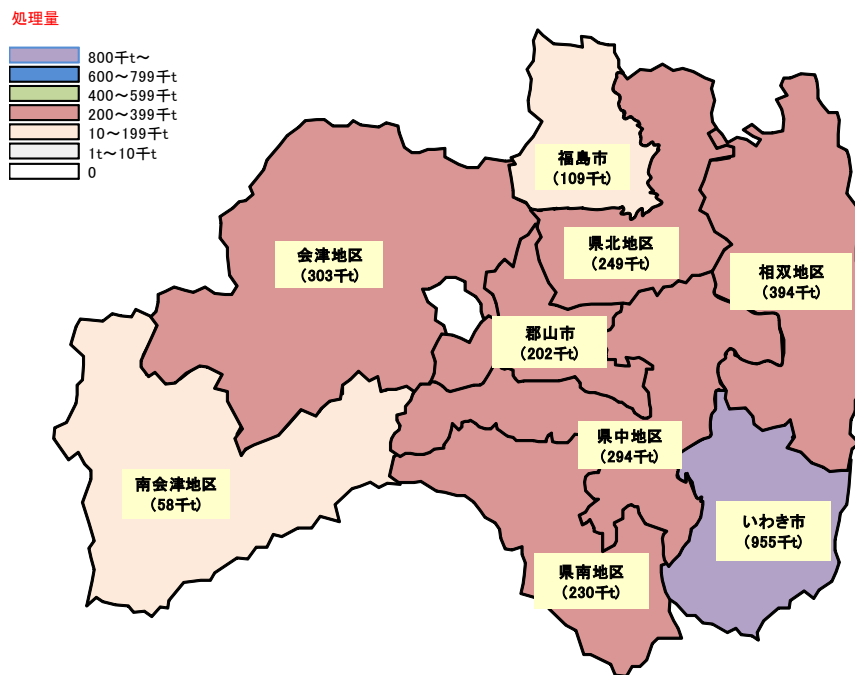


図 2-9 産業廃棄物処理業者の地区別中間処理実績

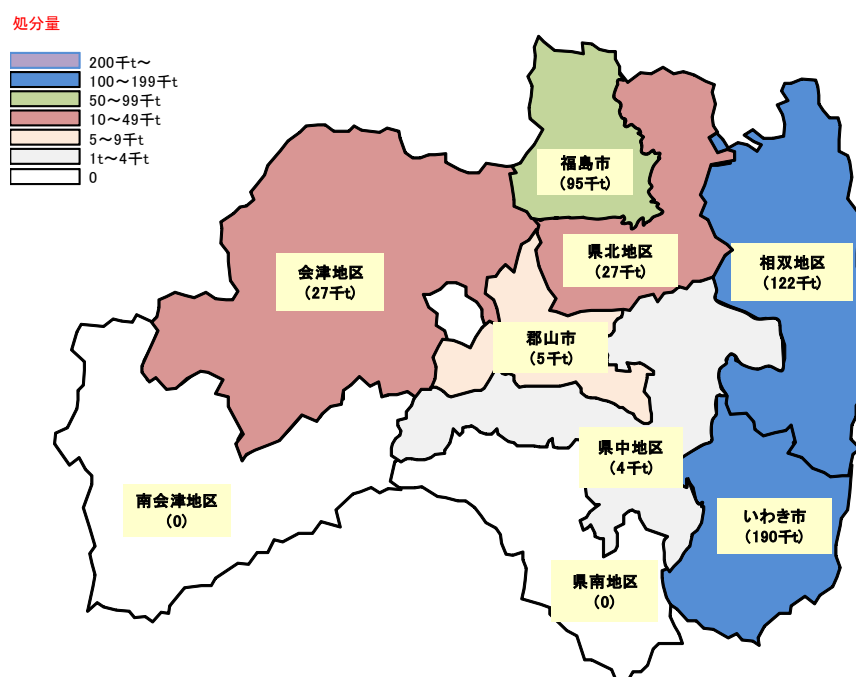


図 2-10 産業廃棄物処理業者の地区別最終処分実績

## 2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果

平成 29 年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）等を基に、「福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム」に情報登録し、福島県をとりまく産業廃棄物の物流を整理した結果は、**図 2-11**、**図 2-12** のとおりである。

### (1) 図 2-11、図 2-12 における各断面のデータについて

#### ●赤枠処理項目

廃棄物処理法に基づく**多量排出事業者**及び適正化条例に基づく**指定排出事業者**より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者内で処理が完結している有償物量、自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量、保管量について、処理フローを作成した。

#### ●青枠処理項目

福島県内（福島市、郡山市、いわき市含む）の**産業廃棄物処分業者**の処分実績から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物の量は除外した。

#### ●緑枠処理項目

福島県（福島市、郡山市、いわき市含む）許可を有する**産業廃棄物収集運搬業者**の運搬実績（県外への搬出分）から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物を排除した。

### (2) 図 2-11、図 2-12 の表示値について

図 2-11 は、**多量排出事業者**及び**指定排出事業者**および**産業廃棄物処分業者**、**収集運搬業者**の処理実績データを単純に集計した。

図 2-12 は、図 2-11 のうち、排出事業者の業種が指定されている業種以外の事業所から発生した事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体）は除外した。

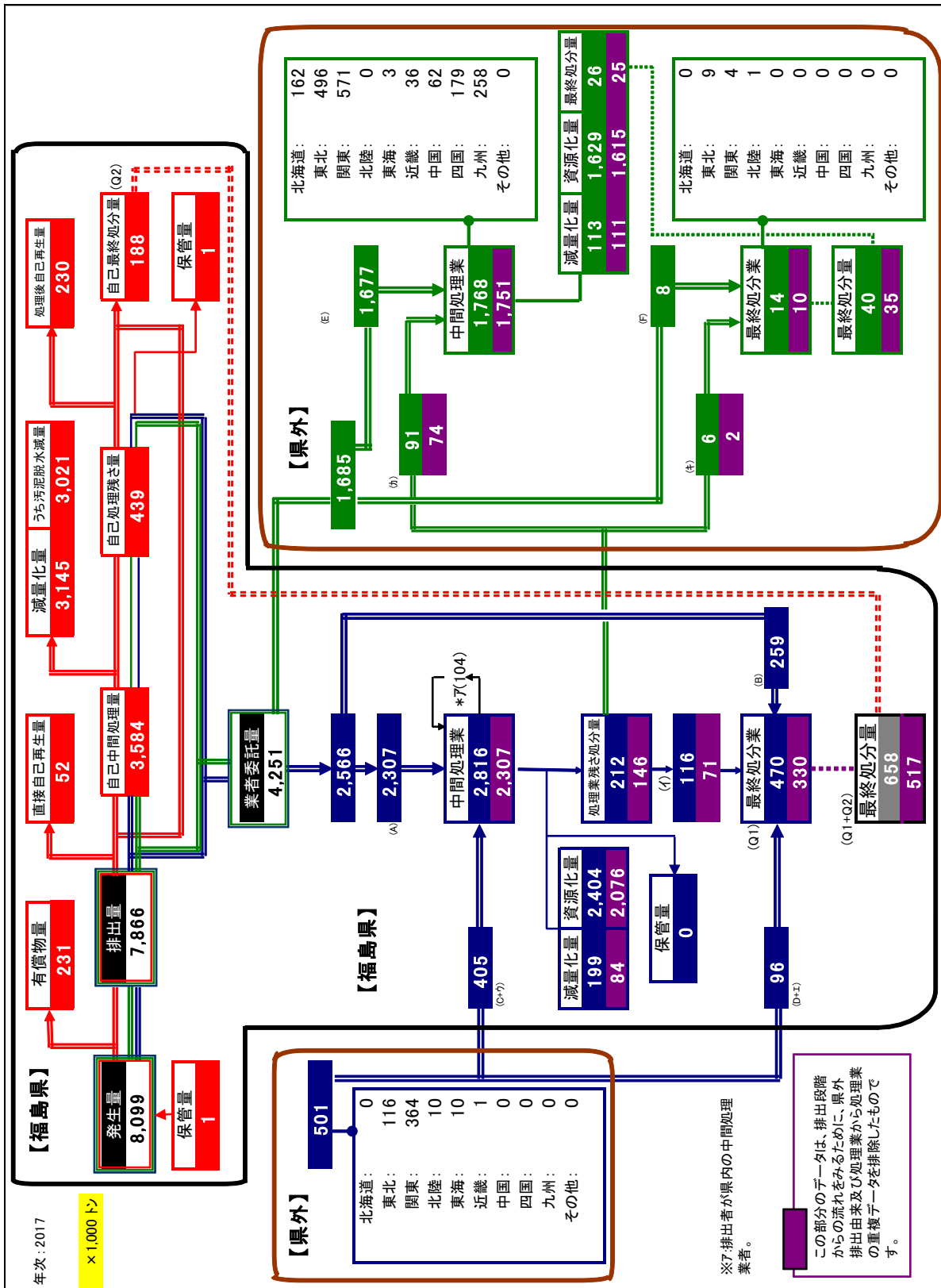


図2-11 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）＜事業系一般廃棄物を含む＞

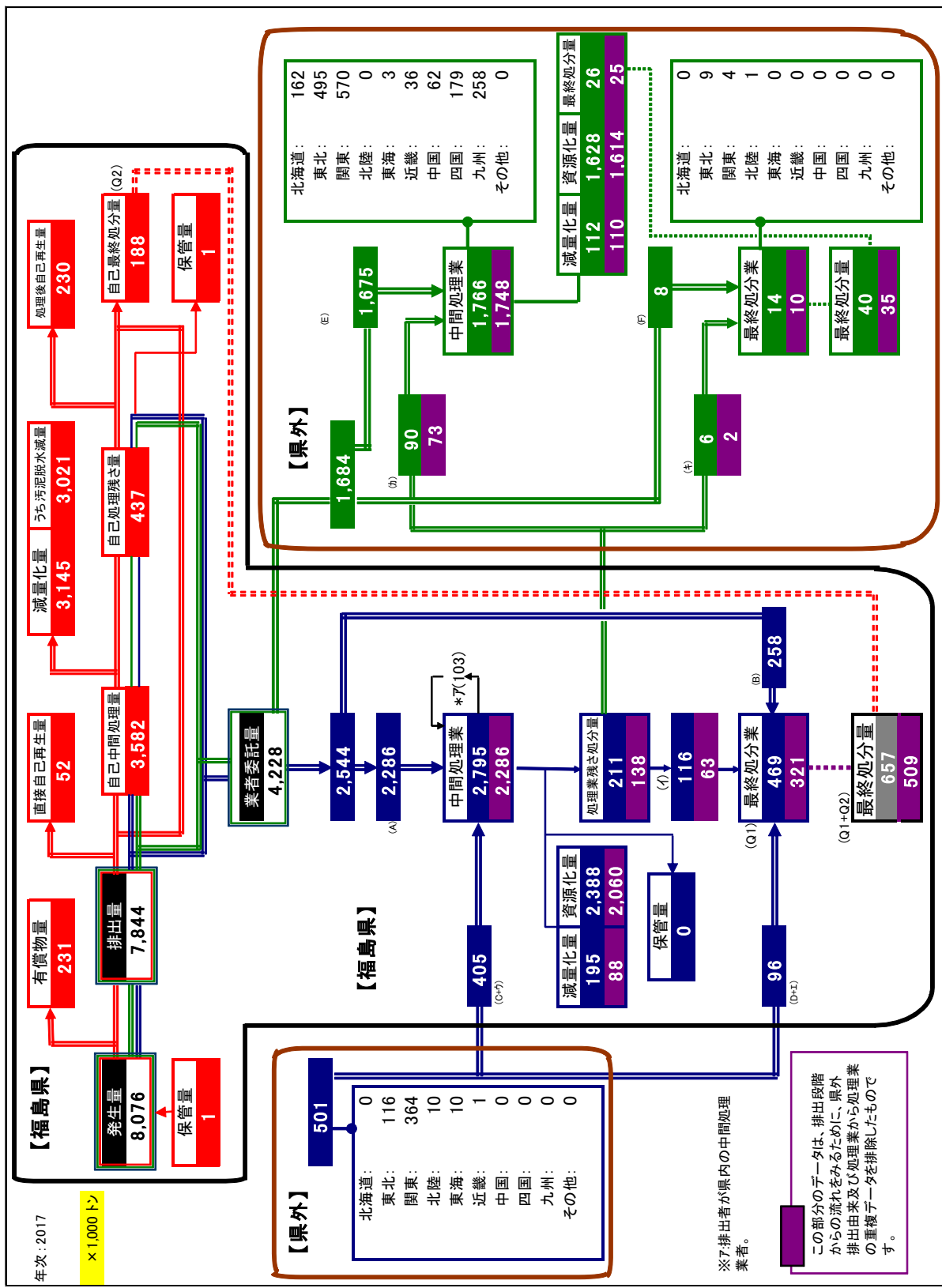


図2-12 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）<福島県産業廃棄物処理計画進行管理用>

## 2.6 東北地方太平洋沖地震及び大津波による産業廃棄物の排出量の経年変化

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及び大津波により、過去に経験したことのないほどの甚大な被害が生じるとともに、それに伴って膨大な災害廃棄物が発生した。

さらに、本県においては、福島第一原子力発電所の事故により、産業廃棄物についても、放射性物質に汚染され、通常の処理が困難になった。平成22年度から平成29年度の排出量、再生利用量、最終処分量等の変化は、以下のとおりである。

### (1) 排出量の経年変化

産業廃棄物の排出量の経年変化は、**図 2-13** 及び**表 2-3** のとおりである。

平成23年度は、震災に伴い稼働を停止した火力発電所（ばいじん、燃え殻）、下水道（汚泥）の影響により減少となったが、平成24年度から平成27年度は火力発電所の再開に伴い発生するばいじんが大幅に増加し、建設工事等の事業活動に伴うがれき類も大幅に増加した。

平成28年度に一度減少した排出量は、平成29年度に再び増加しており、主要な種類は全て増加している。

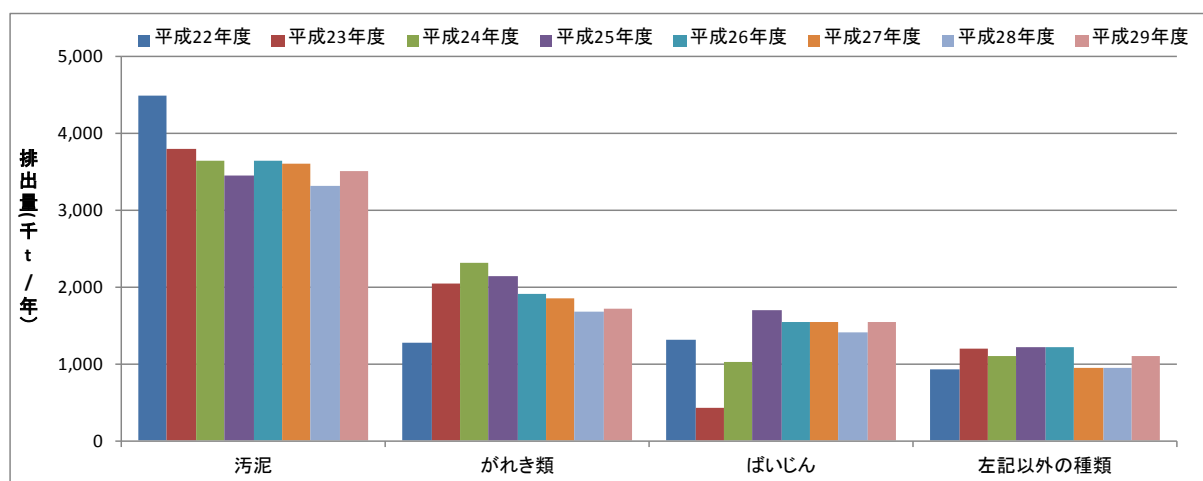


図 2-13 平成22年度から29年度の種別別排出量の経年変化

表 2-3 排出量の経年変化

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
排出量(千t/年)	7,994	7,454	8,052	8,490	8,321	7,936	7,332	7,844



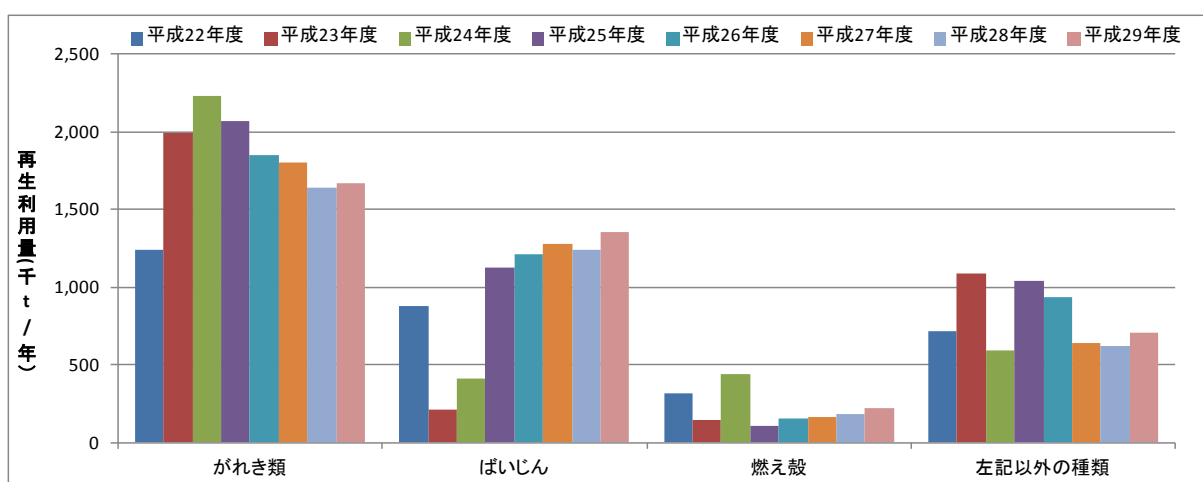
## (2) 再生利用量の経年変化

産業廃棄物の再生利用量及び再生利用率は、**図 2-14**、**図 2-15** 及び**表 2-4** のとおりである。

再生利用量は、平成 23 年度に火力発電所が稼働を停止したことにより、ばいじんの排出量が減少し再生利用量も減少となったが、平成 24 年度に火力発電所の稼働再開に伴い、排出量及び再生利用量とも増加した。

また、災害復興に伴う建設業の事業活動が増加したことからがれき類の再生利用量が増加、平成 25 年度では、火力発電所からのばいじんの再生利用量が増加した。

平成 29 年度は、平成 28 年度よりも排出量が増加したため、再生利用量も増加となった。がれき類やばいじんの再生利用率は高い水準を維持しており、全体の再生利用率は 50%程度で推移している。



\*種類は、再生利用時点の種類で集計したもの。

図 2-14 平成 22 年度から 29 年度の種類の再生利用量の経年変化

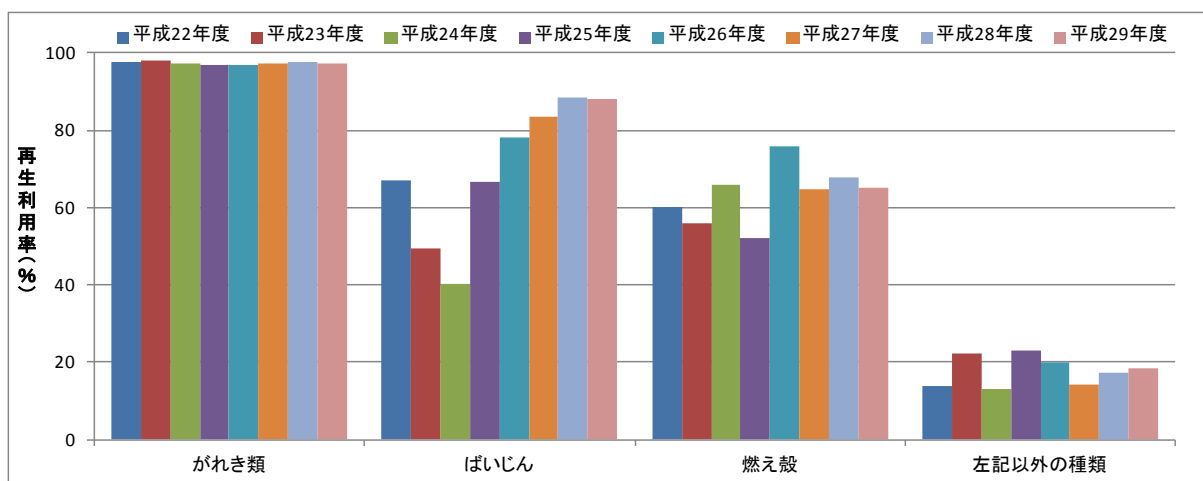


図 2-15 平成 22 年度から 29 年度の種類の再生利用率の経年変化

表 2-4 再生利用量の経年変化

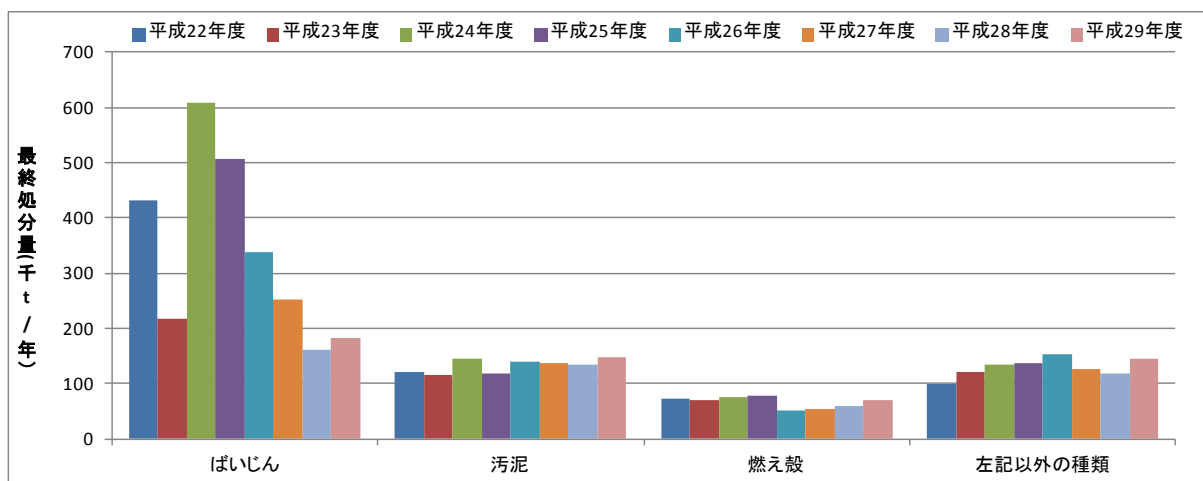
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
再生利用量(千t/年)	3,155	3,428	3,673	4,343	4,153	3,889	3,677	3,956
再生利用率(%)	39	46	46	51	50	49	50	50

### (3) 最終処分量の経年変化

産業廃棄物の最終処分量及び最終処分率は、図 2-16、図 2-17 及び表 2-5 のとおりである。

最終処分量は、平成 23 年度に火力発電所から発生するばいじんの最終処分量が災害（稼働停止）により減少したが、平成 24 年度は稼働再開に伴い最終処分量が増加した。平成 25 年以降は、ばいじんの再生利用が進んだために最終処分量は減少している。

平成 29 年度は、平成 28 年度よりも排出量が増加したため、最終処分量も増加となった。がれき類や汚泥等の最終処分率は平成 28 年度と同程度であり、全体の最終処分率は 7%となっている。



\*種類は、最終処分時点の種類で集計したもの。

図 2-16 平成 22 年度から 29 年度の種類の最終処分量の経年変化

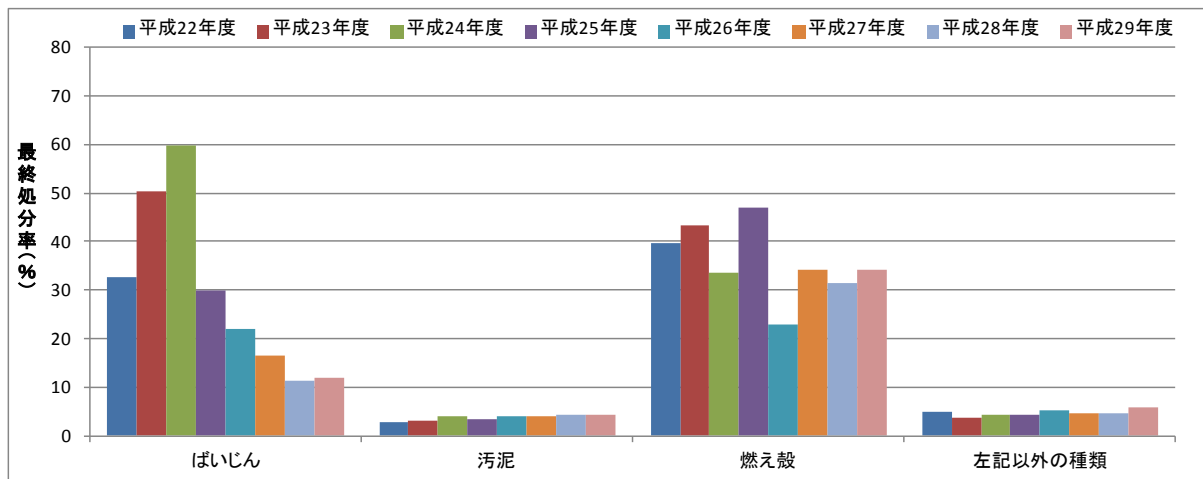


図 2-17 平成 22 年度から 29 年度の種類の最終処分率の経年変化

表 2-5 最終処分量の経年変化

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
最終処分量(千t/年)	726	523	962	838	682	570	471	544
最終処分率(%)	9	7	12	10	8	7	6	7

### 第3章 産業廃棄物処理業者の実績

#### 3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

平成29年度における産業廃棄物処理業者の処分実績の概要は、図3-1のとおりである。

県内での中間処理量は2,795千トンとなっており、このうち2,390千トンが県内の排出事業者等から搬入され、405千トンが県外から搬入されている。

県内の最終処分量は469千トンで、このうち374千トンが県内の排出事業者等から搬入され、96千トンが県外から搬入されている。

県外へ搬出された産業廃棄物は1,780千トンで、このうち中間処理のため排出されたものが1,766千トン、最終処分のために搬出されたものが14千トンとなっている。

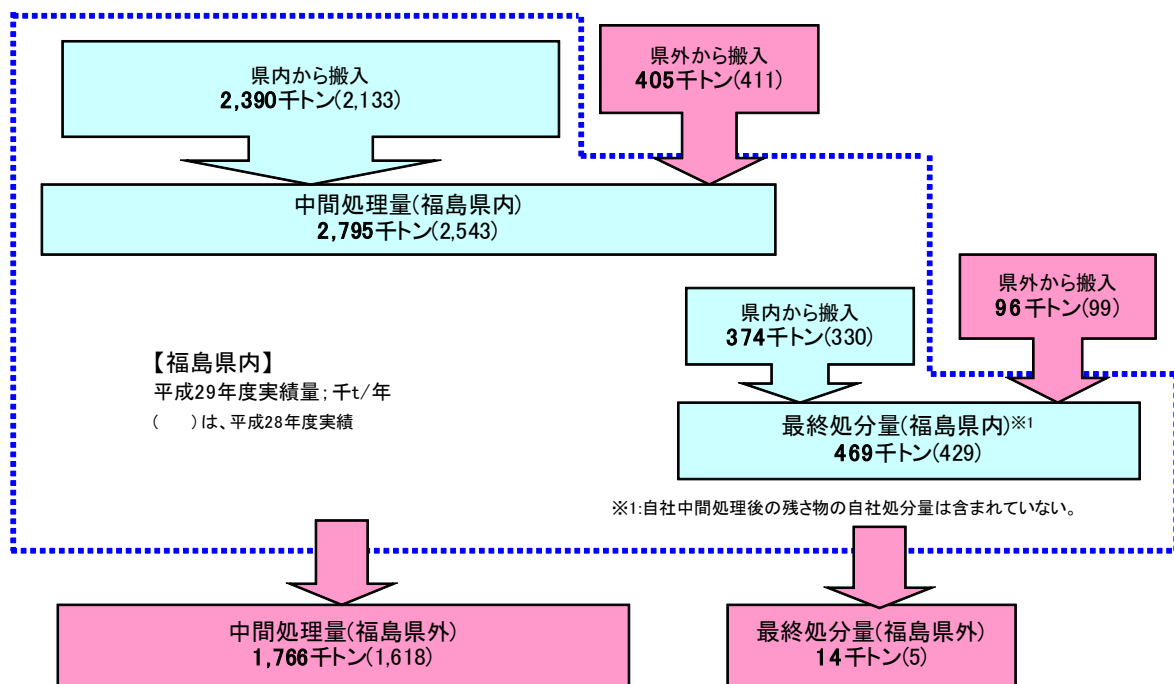


図3-1 産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

## 1 県内の中間処理業者の処分実績

中間処理業者の産業廃棄物の種類別の処理量をみると、**図 3-2** 及び**表 3-1** のとおりである。  
 中間処理業者の処理量 2,795 千トンのうち、がれき類が最も多くなっており、全体の 59% を占めている。

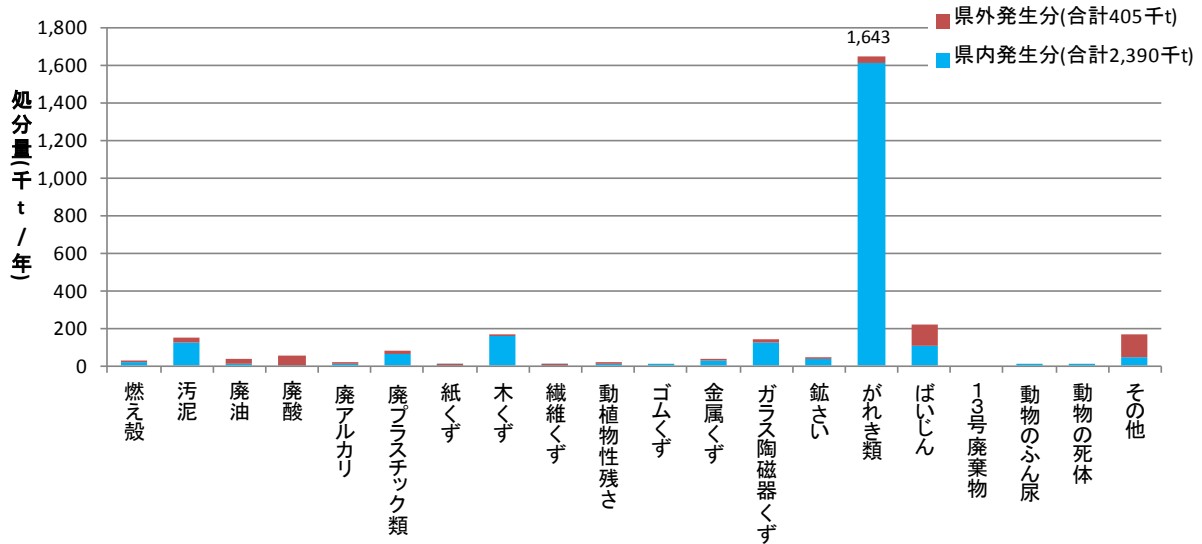


図 3-2 県内の中間処理業者の種類別処分実績

## 2 県内の最終処分業者の処分実績

最終処分業者の最終処分量を産業廃棄物の種類別にみると、**図 3-3** 及び**表 3-1** のとおりである。

最終処分業者の最終処分量 469 千トンのうち、ばいじんが最も多く、以下、汚泥、燃え殻、廃プラスチック類、がれき類の順となっており、この 5 種類で全体の 85% を占めている。

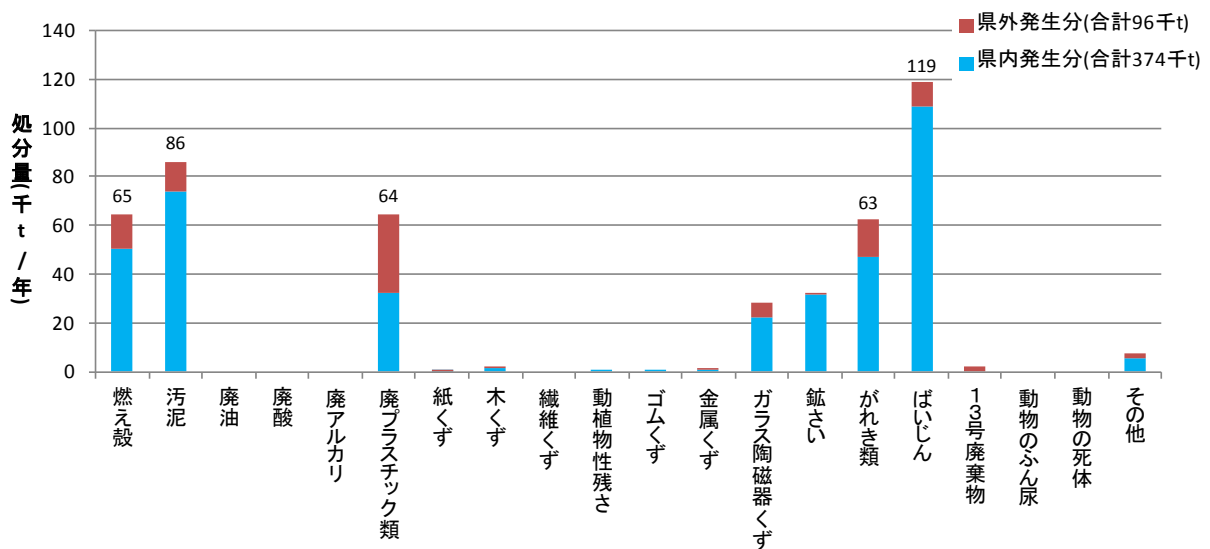


図 3-3 県内の最終処分業者の種類別処分実績

### 3 県外へ搬出された産業廃棄物の処分実績（収集運搬者実績報告より）

県内へ搬出された産業廃棄物の処分量を種類別にみると図 3-4 及び表 3-1 のとおりである。

県外へ搬出された産業廃棄物 1,780 千トンのうち、ばいじんが全体の 69%を占めている。なお、県外へ搬出されたばいじんのほとんどはセメント原料などに資源化されている。

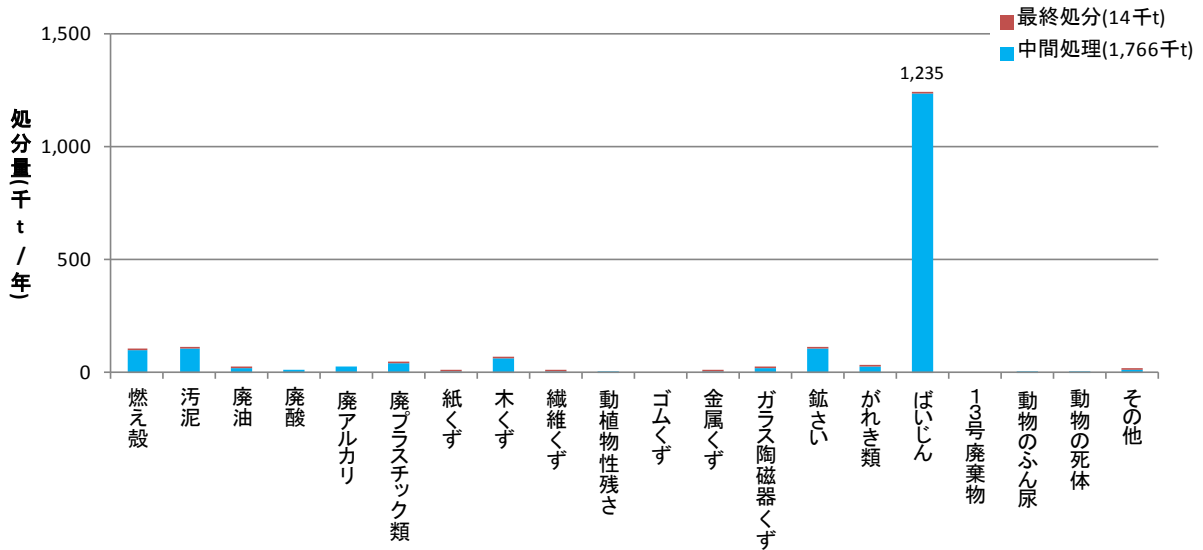


図 3-4 県外へ搬出された産業廃棄物の種類別処分実績

表3-1 産業廃棄物中間処理業・最終処分業・県外へ排出された収集運搬実績データの集計結果

処理・処分 種類	物流計	県内での処分実績												県外への搬出											
		中間処理業						最終処分業						中間処理						最終処分					
		計			県内発生 処理業者か らの残量			県外搬入 (C+E)			県内発生 処理業者か らの残量			県外搬入 (D+E)			計			県内発生 処理業者か らの残量			県外搬入 (F)		
		うち焼却 量	処理後の収支(権計) *再処理に伴う収支を含む 資源化 減量化	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)
合計	5,043,814 (100.0%)	2,794,703 (55.4%)	2,286,398 (45.3%)	103,244 (2.0%)	405,061 (8.0%)	169,112 (3.4%)	489,409 (9.3%)	115,572 (2.3%)	95,789 (1.9%)	1,250 (0.0%)	1,779,702 (35.3%)	1,446,646 (28.7%)	1,675,484 (33.2%)	90,048 (1.8%)	25,759 (0.5%)	1,627,772 (32.3%)	112,001 (2.2%)	14,170 (0.3%)	8,475 (0.2%)	5,895 (0.1%)					
燃え殻	180,144	20,467	17,858	194	2,415	77	64,790	28,613	22,010	14,167	94,887	89,086	90,462	4,420	605	94,268	10	5	5						
汚泥	339,407	148,892	36,798	115,144	9,216	24,532	16,740	72,722	59,430	86,272	16,199	16,189	6,922	14,853	88	81,500	7,951	11	11						
廃油	54,232	38,033	33,172	14,969	624	22,439	1,488	4,878	31,657		13,498	13,498	2,583	111	111	1,666	11,721								
廃酸	69,875	56,377	3,731	3,620	42	52,715	200	51,710	4,467		26,552	26,552	7,548	25,831	235	1,506	24,811								
廃アルカリ	45,730	19,178	17,590	15,868	252	3,058	741	25	18,412		42,935	42,283	11,174	28,452	13,831	31,952	4,793	652	18	633					
廃プラスチック類	187,361	80,182	22,706	59,029	6,210	14,943	10,979	50,323	18,879	64,245	1,181	1,169	24	648	521	197	947	25	12	12					
紙くず	5,865	4,682	1,353	3,583	373	726	487	3,070	1,125	2	64,292	60,546	20,796	31,665	28,881	5,722	18,842	3,747							
木くず	238,076	170,370	20,343	140,631	18,869	10,889	5,324	146,760	18,286	1,414	123	116	1	66	50	44	71	1	7						
繊維くず	1,820	1,697	496	1,611	84	2	299	960	438		7,314	7,314	376	7,314	20	7,111	183								
動植物性残さ	22,166	14,431	834	10,457	3,973	85	13,653	693	421																
動物系固形不燃物																									
ゴムくず	8	2	2	2	2	0	2	5	5																
金属くず	30,617	27,221	729	23,829	2,501	891	383	26,819	19	794	2,602	2,585	84	2,519	66	147	2,438	0	17	17					
ガラス陶磁器くず	189,929	140,868	632	121,761	7,754	11,353	12,924	127,635	309	28,305	20,756	19,793	2,988	11,563	8,230	5,103	14,660	30	963	104	858				
腐さい	184,852	39,002	10,593	35,810	3,192	3,894	21	38,894	87	32,223	113,627	105,894	80,449	103,209	2,685	120	105,774		7,733	3,868	3,864				
がれき類	1,729,858	1,643,366	161	1,569,125	41,955	32,286	16,433	1,626,804	129	62,617	2,3875	23,776	67	14,300	9,477	1,761	22,010	5	99	12	87				
ばいじん	1,571,445	217,586	40,726	108,429	3,218	105,939	270	216,233	1,082	118,798	1,235,061	1,234,840	1,183,848	1,226,820	8,319	141	1,234,795	4	121	121					
13号廃棄物	2,244									2,244															
動物のふん尿	7,051	6,993		6,993				6,993			57	57		57	3	51	4								
動物の死体	160	1	1	1					1		159	159	75	159	159	159									
その他	184,974	165,356	64,509	37,677	11,953	115,726	18,953	132,443	13,959	7,278	12,340	12,193	7,757	4,511	7,682	1,418	3,834	6,941	147	16	131				
感染性廃棄物	6,367	5,657	2,491	0	3,166	32	4,605				710	710	284	710	0	443	55	212							
混合廃棄物	164,166	149,001	57,728	25,631	11,947	111,424	12,886	127,660	8,455	6,447	8,717	8,570	7,198	1,531	7,039	1,199	6,488	147	16	131					
その他	14,442	10,697	1,125	9,555	6	1,136	5,046	4,752	900	831	2,913	2,913	275	2,271	642	92	2,580	241							

### 3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理

県内の中間処理施設で処理された実績量を処理地区別及び委託元である発生地区別にみると、**図 3-5～図 3-6** 及び**表 3-3～表 3-4** とおりである。

県内の中間処理業者の中間処理量 2,795 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が 955 千トンで最も多く、以下、相双地区が 394 千トン、会津地区が 303 千トン、県中地区が 294 千トン、県北地区が 249 千トン、県南地区が 230 千トン、郡山市が 202 千トン等となっている。**(図 3-5、表 3-2)**

県内の中間処理施設で処理された実績量を委託元である発生地区別にみると、県内では、いわき市が 608 千トンで最も多く、以下、相双地区が 517 千トン、郡山市が 232 千トン、会津地区が 214 千トン、県中地区が 190 千トン、県南地区が 189 千トン、福島市 174 千トン等となっている。**(図 3-6、表 3-3)**

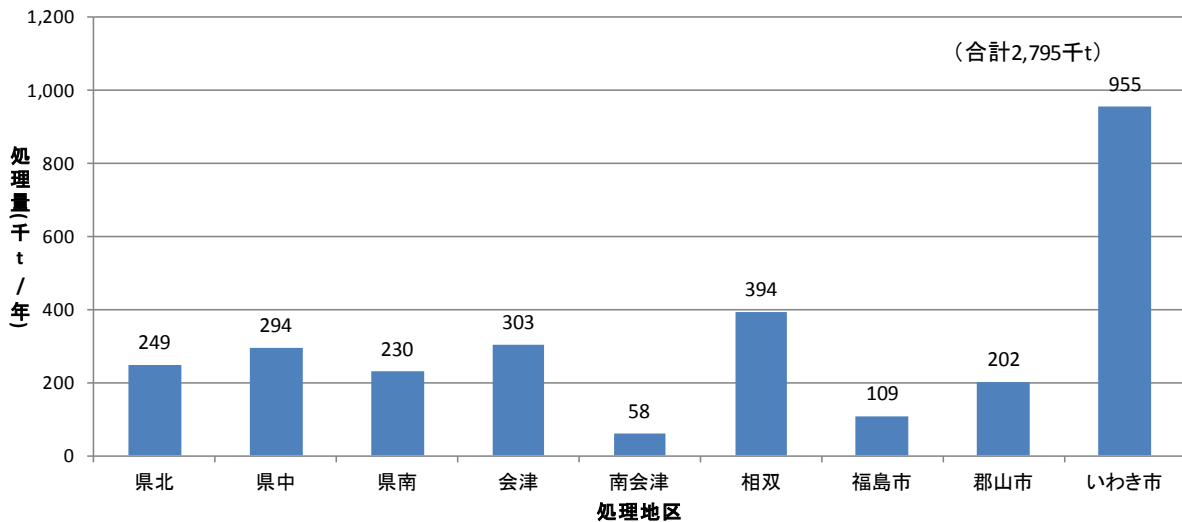
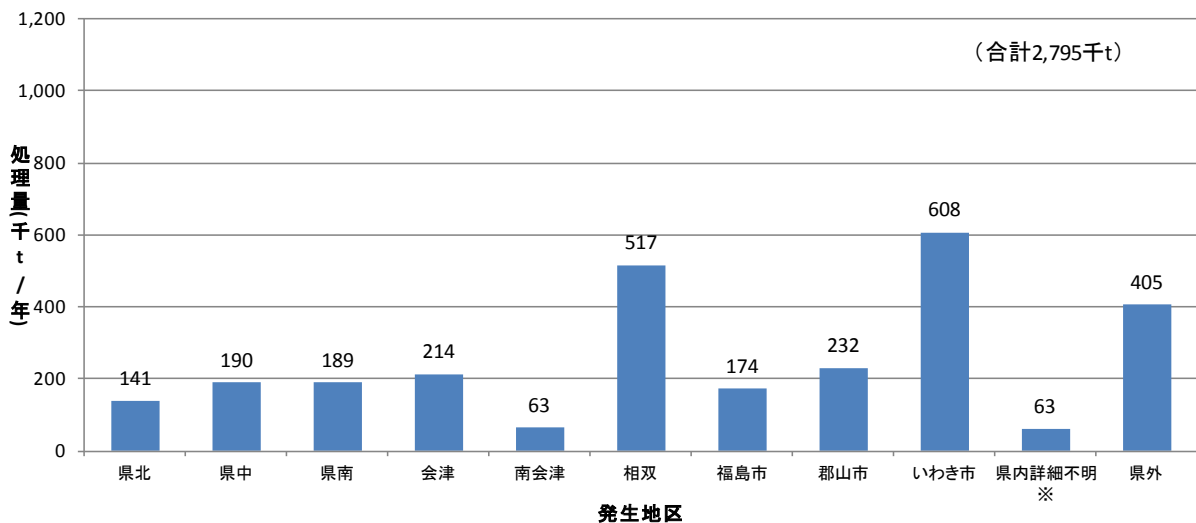


図 3-5 処理地区別の中間処理量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの。

図 3-6 発生地区別の中間処理量

表 3-2 県内の中間処理業者の処理地区別処分実績 (産業廃棄物処分実績報告データの集計結果)

(単位：t/年)

種類	処理地区	県内計									
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	
合計		2,794,703	249,198	293,847	229,895	302,978	58,494	394,367	108,716	201,751	955,457
燃え殻		20,467				56		15,130	3,723		1,558
汚泥		148,892	10,396	11,508	15,241	20,927	59	34,871	3,054	25,854	26,982
廃油		38,033	1,162		3,167	17,061		60		4,464	12,119
廃酸		56,377		6	411	1,645		188		760	53,366
廃アルカリ		19,178			7,076	4,791		0			7,310
廃プラスチック類		80,182	4,999	21,470	5,770	9,953	338	6,731	4,547	11,011	15,362
紙くず		4,682		2,185	144	743	24	313	430	482	361
木くず		170,370	8,628	9,819	28,273	20,551	4,069	14,904	8,219	10,535	65,373
繊維くず		1,697	20	87	31	112	20	240	235	240	712
動植物性残さ		14,431	1,272	8,069	4,292	42		193	4	342	218
動物系固形不要物											
ゴムくず		2									2
金属くず		27,221	480	8,307	764	409	406	819	1,574	6,368	8,094
ガラス陶磁器くず		140,868	12,251	12,238	14,753	10,657	3,024	21,491	4,549	3,879	58,026
鉱さい		39,002	1,212		11,953	17			1,954	7,427	16,440
がれき類		1,643,366	202,982	217,994	136,286	158,511	50,554	290,472	71,337	125,190	390,042
ばいじん		217,586				50,741			5,299		161,546
13号廃棄物											
動物のふん尿		6,993	5,260		1,734						
動物の死体		1									1
その他		165,356	536	2,166		6,761		8,954	3,792	5,201	137,944
感染性廃棄物		5,657				1,561		76			4,020
混合廃棄物		149,001	536	2,166		4,616		603	3,781	5,145	132,154
その他		10,697				585		8,276	11	56	1,770



表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県
合計	2,794,703 (100.0%)	140,678 (5.0%)	189,876 (6.8%)	189,068 (6.8%)	214,245 (7.7%)	63,247 (2.3%)	516,573 (18.5%)	174,057 (6.2%)	231,581 (8.3%)	607,806 (21.7%)	62,510 (2.2%)	230 (0.0%)	2,300 (0.1%)	1,881 (0.1%)	70,358 (2.5%)
燃え殻	20,467	1	8	2	2		16,307		84	1,647				87	14
汚泥	148,892	12,418	9,885	7,257	11,057	528	9,667	3,998	27,118	42,424	6	4	1	27	725
廃油	38,033	955	958	1,230	2,666	128	1,489	752	3,182	4,234			56	584	610
廃酸	56,377	256	99	106	1,251	1	35	37	67	1,810			0	760	61
廃アルカリ	19,178	832	1,722	3,338	3,785	18	1,546	30	1,288	3,560			0	10	135
廃プラスチック類	80,182	6,112	6,413	5,072	4,978	607	8,370	7,621	12,094	13,861	111	0	48	43	4,698
紙くず	4,682	280	739	233	104	24	601	509	854	481	130				717
木くず	170,370	4,945	18,179	11,933	20,416	6,056	24,796	10,956	14,662	42,455	5,102				1,493
繊維くず	1,697	52	54	36	141	17	277	160	199	715	44				
動植物性残さ	14,431	1,561	2,224	1,877	159		125	207	4,175	56	72				1,059
動物系固形不要物															
ゴムくず	2		2												
金属くず	27,221	1,336	3,805	1,705	710	456	3,185	2,674	5,392	6,917	152	2	73	82	420
ガラス陶磁器くず	140,868	11,444	12,107	9,393	12,006	2,205	32,506	6,722	5,386	37,729	17		2	1	4,164
鉱さい	39,002	1,565	272	10,020	286		433	20	55	23,158					2,221
がれき類	1,643,366	91,625	123,982	134,658	151,398	53,102	342,289	137,539	153,378	366,243	56,865				27,344
ばいじん	217,586	533		51	1,295	1	59,659	0		50,107			2,118		23,787
13号廃棄物															
動物のふん尿	6,993	5,260		1,734											
動物の死体	1			0					1						
その他	165,356	1,503	9,427	423	3,990	103	15,287	2,830	3,645	12,409	11	224	1	287	2,912
感染性廃棄物	5,657	105	57	21	511	24	109	626	606	431					455
混合廃棄物	149,001	1,342	9,358	393	3,462	80	6,088	2,172	3,004	11,669	9			254	2,223
その他	10,697	56	12	9	17	0	9,090	31	36	309	1	224	1	34	233

(単位：t/年)

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

(単位：t/年)

種類	発生地区																
	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
合計	736 (0.0%)	2,760 (0.1%)	-	89,856 (3.2%)	49,313 (1.8%)	28,404 (1.0%)	38,459 (1.4%)	35,330 (1.3%)	14,613 (0.5%)	19,203 (0.7%)	31,388 (1.1%)	9,847 (0.4%)	32 (0.0%)	23 (0.0%)	647 (0.0%)	1,213 (0.0%)	40 (0.0%)
燃え殻		1	-	5	572	196	0	20	20	1	1,498						
汚泥	1	381	-	2,869	1,631	4,408	4,090	555	363	1,449	5,900	305	26	18	54	740	24
廃油	1	446	-	3,247	649	2,907	1,430	3,221	1,228	1,298	2,378	2,346	1	2	22	79	3
廃酸	7	534	-	50,120	83	8	49	159	59	89	36	270	1		320	2	0
廃アルカリ	7	269	-	1,008	607	10	93	275	63	165	10	2	4		245	2	0
廃プラスチック類	77	140	-	822	1,999	24	1,336	782	845	2,991	953	38	0	2	1	17	5
紙くず			-	8	2					0							
木くず		34	-	3,780	1,953	295	1,544	581	667	18	436	67					
繊維くず			-		2												
動植物性残さ			-	91			2,732		8								
動物系固形不要物			-														
ゴムくず			-														
金属くず	24	69	-	118	40	5	4	1	18	5	3	7				0	8
ガラス陶磁器くず	3	143	-	2,971	1,375	1,997	41	13	468	121	35				0	0	
鉱さい			-	267	17						678						
がれき類		727	-	94	159	123	144		3,529	1	150	12					
ばいじん	615		-	18,682	9,545	2,533	12,096	6,789	5,159	3,630	12,024	5,525				23	
13号廃棄物			-														
動物のふん尿			-														
動物の死体			-														
その他	0	14	-	5,773	30,678	15,897	14,899	22,935	2,186	9,435	7,287	1,274			4	351	
感染性廃棄物	0	13	-	1,066	341	74	177	124	227	520	159				4		
混合廃棄物			-	4,555	30,337	15,823	14,677	22,780	1,899	8,806	7,043	1,274				334	
その他	0	1	-	153	1		45	31	61	110	85					16	

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その3＞

(単位：t/年)

種類	発生地区																
	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
合計	3,093 (0.1%)	3,854 (0.1%)	397 (0.0%)	36 (0.0%)	79 (0.0%)	610 (0.0%)	256 (0.0%)	8 (0.0%)	4 (0.0%)	55 (0.0%)	5 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	28 (0.0%)
燃え殻																	
汚泥	271	115	219	8	17	123	201	3	3	0	0	0	0	0	0	0	2
廃油	1,277	338	37	5	4	235	30	3	1								0
廃酸	113	0	0	13	0	22	9	0									0
廃アルカリ	9	0	101	1	0	26	13	1									0
廃プラスチック類	37	1	14	9	58	1	0	1	0								
紙くず																	
木くず		1															
繊維くず																	
動植物性残さ	83																
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず	1	8		0			2	0						2			
ガラス陶磁器くず	1	0		0		16		0	0								
鉱さい			10														
がれき類							1										
ばいじん		3,257				156											
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他	1,303	133	15			30				55	5						26
感染性廃棄物	5																
混合廃棄物	1,296	124				0											
その他	2	10	15			30				55	5						26

表3-3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区										
	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明	
合計		0 (0.0%)									
燃え殻											
汚泥											
廃油											
廃酸											
廃アルカリ		0									
廃プラスチック類											
紙くず											
木くず											
繊維くず											
動植物性残さ											
動物系固形不要物											
ゴムくず											
金属くず											
ガラス陶磁器くず											
鉱さい											
がれき類											
ばいじん											
13号廃棄物											
動物のふん尿											
動物の死体											
その他											
感染性廃棄物											
混合廃棄物											
その他											

### 3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分

最終処分場で処分された実績量を処理地区別にみると、**図 3-7**～**図 3-8** 及び**表 3-4**～**表 3-5** とおりである。

県内の最終処分業者の最終処分量 **469** 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が **190** 千トンで最も多く、以下、相双地区が **122** 千トン、福島市が **95** 千トン等となっている。**(図 3-7、表 3-4)**

県内の最終処分場で処分された実績量を委託元である発生区別にみると、相双地区が **143** 千トンで最も多く、以下、県外が **96** 千トン、いわき市が **79** 千トン、会津地区が **60** 千トン、郡山市が **31** 千トン、福島市が **21** 千トン、県南地区が **17** 千トン等となっている。**(図 3-8、表 3-5)**

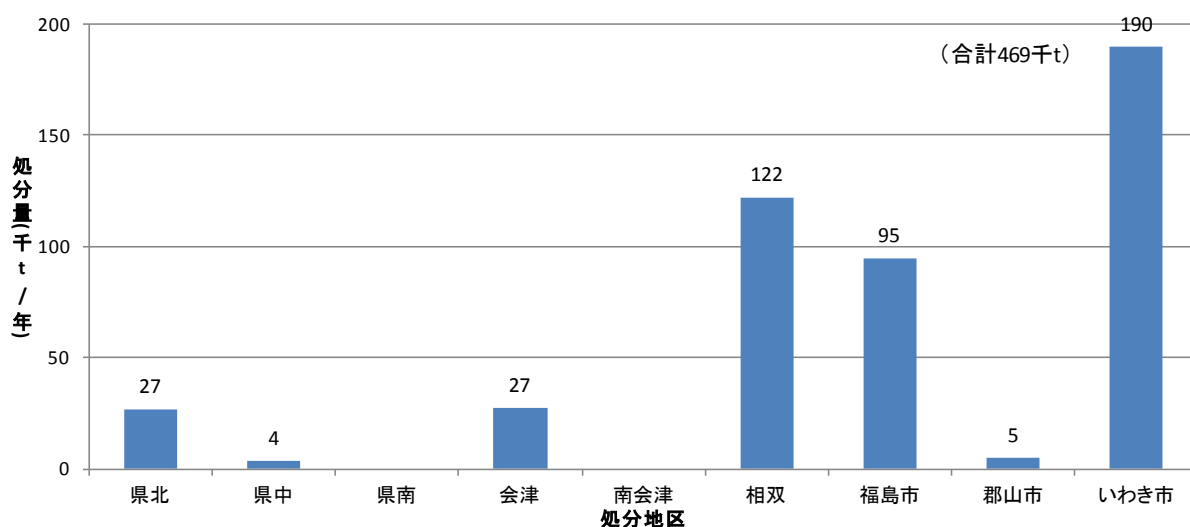
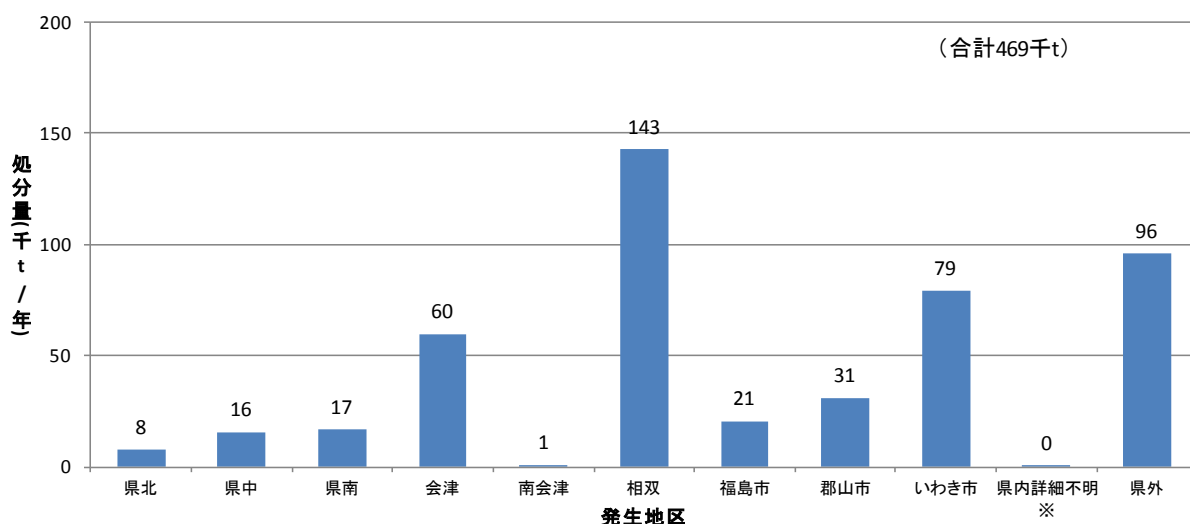


図 3-7 処分地区別の県内の最終処分業者による処分量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの

図 3-8 発生地区別の最終処分業者による処分量

表 3-4 県内の最終処分業者の処分地区別処分実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）

（単位：t/年）

種類	処分地区	県内計									
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	
合計		469,409	26,955	3,503		27,309		122,254	94,832	4,808	189,749
燃え殻		64,790				14,264		13,089	23,873	23	13,541
汚泥		86,272	10,492			4,798		5,014	25,115	2,968	37,886
廃油											
廃酸											
廃アルカリ											
廃プラスチック類		64,245	424	2,112		109		2	2,017	1,073	58,508
紙くず		2							2		1
木くず		1,414							1,414		
繊維くず											
動植物性残さ		421				3				418	
動物系固形不要物											
ゴムくず		5							5		
金属くず		794	24	13		85			241	10	422
ガラス陶磁器くず		28,305	2,157	194		2,311			3,426	11	20,206
鉱さい		32,223	7,390			1,794			6,534	280	16,224
がれき類		62,617	6,468	1,122		1,292		36	18,535	25	35,140
ばいじん		118,798				403		104,113	10,897		3,386
13号廃棄物		2,244							2,244		
動物のふん尿											
動物の死体											
その他		7,278		62		2,250			530		4,436
	感染性廃棄物										
	混合廃棄物	6,447		62		2,250					4,134
	その他	831							530		301

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県
合計	469,409 (100.0%)	373,620 (79.6%)	7,522 (1.6%)	15,628 (3.3%)	16,647 (3.5%)	59,693 (12.7%)	691 (0.1%)	142,684 (30.4%)	20,562 (4.4%)	30,842 (6.6%)	79,000 (16.8%)	352 (0.1%)	95,789 (20.4%)	920 (0.2%)	2,360 (0.5%)
燃え殻	64,790	50,623	109	188	1,056	20,169	7	14,396	316	2,911	11,470		14,167	218	650
汚泥	86,272	74,238	1,409	3,692	4,873	5,695	37	12,166	2,655	8,172	35,450	88	12,035	504	10
廃油															
廃酸															
廃アルカリ															
廃プラスチック類	64,245	31,997	3,202	4,302	4,136	1,994	40	4,246	5,037	1,226	7,813	2	32,248		199
紙くず	2	1								1			2		
木くず	1,414	1,406						10	1,396				8		
繊維くず															
動植物性残さ	421	421		418		3									
動物系固形不要物															
ゴムくず	5	5							5						
金属くず	794	718	40	3	176	66	4	9	83	16	321	1	76		6
ガラス陶磁器くず	28,305	21,909	704	3,837	588	2,324	293	1,682	1,937	4,288	6,210	45	6,396		109
鉱さい	32,223	31,333	657	289	742	24,447	100	660	440	192	3,805		889		
がれき類	62,617	46,959	1,387	2,701	3,826	2,172	199	4,742	9,964	12,485	9,269	214	15,658		141
ばいじん	118,798	108,704	1	16	1,245	1,717		104,760	124		842		10,094	198	1,246
13号廃棄物	2,244												2,244		
動物のふん尿															
動物の死体															
その他	7,278	5,306	11	182	4	1,106	11	12	1	155	3,820	3	1,973		
感染性廃棄物															
混合廃棄物	6,447	4,475	11	182	4	1,106	11	12	1	154	2,990	3	1,973		
その他	831	831							0	1	830				

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）〈その2〉

(単位：t/年)

種類	発生地区																	
	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	
合計		87 (0.0%)	-	8,043 (1.7%)	11,731 (2.5%)	24,027 (5.1%)	20,755 (4.4%)	3,565 (0.8%)	12,658 (2.7%)	7,676 (1.6%)	3,010 (0.6%)				0 (0.0%)	943 (0.2%)		
燃え殻			-	176	2,181	686	7,479	260	717	1,222	579							
汚泥			-	1,201	166	1,121	4,252	62	2,963	1,338	418							
廃油			-															
廃酸			-															
廃アルカリ			-															
廃プラスチック類			-	3,213	2,541	15,823	3,814	498	2,880	921	1,505					855		
紙くず			-		0	1												
木くず			-		2	6												
繊維くず			-															
動植物性残さ			-															
動物系固形不要物			-															
ゴムくず			-															
金属くず			-		18	50					2							
ガラス陶磁器くず			-	975	368	2,184	1,059	17	332	1,112	212				0	22		
鉱さい			-		337	49	235		268									
がれき類			-	2,227	505	1,333	3,126	461	5,170	2,326	294					65		
ばいじん			-		3,632	1,053	790	2,267	327	493								
13号廃棄物			-		1,980					264								
動物のふん尿			-															
動物の死体			-															
その他			-	251		1,721												
感染性廃棄物			-															
混合廃棄物			-	251		1,721												
その他			-															



表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その3＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区別実績																	
	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	
合計	5 (0.0%)					10 (0.0%)												
燃え殻																		
汚泥																		
廃油																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類																		
紙くず																		
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず																		
ガラス陶磁器くず	5																	
鉱さい																		
がれき類						10												
ばいじん																		
13号廃棄物																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
その他																		
感染性廃棄物																		
混合廃棄物																		
その他																		

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞

(単位：t/年)

種類	発生地区									
	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明
合計										
燃え殻										
汚泥										
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラス陶磁器くず										
鉱さい										
がれき類										
ばいじん										
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他										
感染性廃棄物										
混合廃棄物										
その他										

## 第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績

### 4.1 多量排出事業者等における報告状況

多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実績報告書の報告数をみると、表 4-1 及び表 4-2 のとおりである。

多量排出事業者の実施報告は 310 事業者、指定排出事業者の実績報告は 25 業者となっている。また、その他年間の発生量が 500 t 未満の事業者の報告が 42 件あった。

表 4-1 多量排出事業者等における報告状況（平成 29 年度実績）

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者											(報告数)	
	計	産業廃棄物多量排出事業場					特別管理産業廃棄物多量排出事業場					適正化条 例に基づ く指定排 出事業者	その他
		小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市		
農業・林業													
漁業													
鉱業													
建設業	119	117	71	15	19	12	2	2				11	9
製造業	146	86	52	7	6	21	60	31	3	9	17	14	21
電気・ガス・ 水道業	27	25	13	2	3	7	2	1			1		
情報通信業													
運輸・郵便業	2						2			1	1		1
卸・小売業													
金融・保険業													
不動産業・ 物品賃貸業													
専門サービス業													
宿泊業・ 飲食サービス業													
生活関連 サービス業													1
教育・学習 支援業													
医療・福祉業	12						12	4	3	3	2		9
複合サービス業													
サービス業	4	3	2		1		1	1					1
公務													
計	310	231	138	24	29	40	79	39	6	13	21	25	42

\*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

多量排出事業者における平成 30 年度の発生量の目標値の報告数は表 4-2 のとおりであり、産業廃棄物に係るものが 220 事業者、特別管理産業廃棄物に係るものが 82 事業者の合計 302 事業者となっている。

表 4-2 多量排出事業者等における目標値の報告状況（平成 30 年度）

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者											(報告数)
	計	産業廃棄物多量排出事業場					特別管理産業廃棄物多量排出事業場					適正化条 例に基づ く指定排 出事業者
		小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	
農業・林業												
漁業												
鉱業												
建設業	113	110	69	13	17	11	3	2			1	18
製造業	146	82	47	7	7	21	64	35	3	9	17	17
電気・ガス・ 水道業	28	26	14	2	3	7	2	2				
情報通信業												
運輸・郵便業	3	1				1	2			1	1	
卸・小売業												
金融・保険業												
不動産業・ 物品賃貸業												
専門サービス業												
宿泊業・ 飲食サービス業												
生活関連 サービス業												
教育・学習 支援業												
医療・福祉業	10						10	2	3	3	2	
複合サービス業												
サービス業	2	1			1		1	1				1
公務												1
計	302	220	130	22	28	40	82	42	6	13	21	37

\*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

## 4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性

平成29年度における多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実績報告で集計した排出量（発生量－有価物量）をみると、**図4-1～図4-2、表4-3～表4-4**のとおりである。

排出量6,204千トン種類別にみると、汚泥が最も多く、以下、ばいじん、がれき類等となっている。（**図4-1、表4-3**）

排出量を業種別にみると、製造業が最も多く、以下、電気・ガス・水道業、建設業等となっている。（**図4-2、表4-4**）

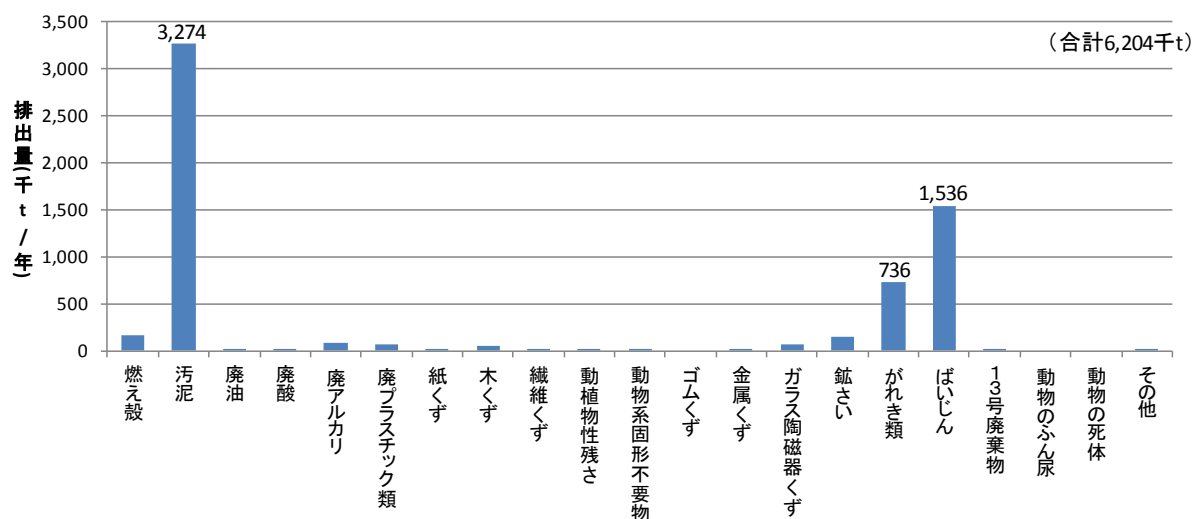


図4-1 多量排出事業者等の種類別の産業廃棄物排出量

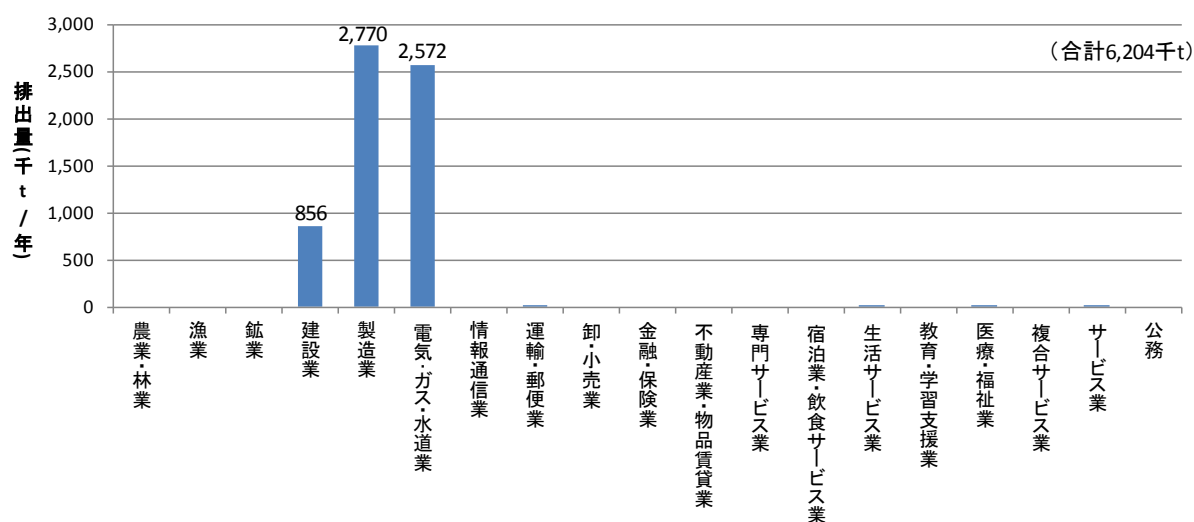


図4-2 多量排出事業者等の業種別の産業廃棄物排出量

表4-3 産業廃棄物の種類別にみた多量排出事業者等の発生量及び処理・処分量

(単位：千t/年)

処理・処分 種類	自社処理									委託 処理量
	排出量	有価物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理量	減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処 分量	
合計	6,204 (100.0%)	231 (3.6%)	52 (0.8%)	113 (1.8%)	3,343 (51.9%)	3,053 (47.4%)	290 (4.5%)	84 (1.3%)	73 (1.1%)	2,830 (44.0%)
燃え殻	159	43		27						132
汚泥	3,274	135	20	4	3,149	2,961	188	0	73	217
廃油	17	1	0		1	1				16
廃酸	17	1			7	6	0	0		11
廃アルカリ	82	0	0		52	50	2	1		31
廃プラスチック類	74	0	0	0	38	33	5	4		37
紙くず	6	2			2	0	1	1		4
木くず	49	0			5	1	5	4		45
繊維くず	1				0	0	0	0		1
動植物性残さ	7	0								7
動物系固形不要物	0									0
ゴムくず	0									0
金属くず	11	10	5	0	1		1	1		5
ガラス陶磁器くず	70	0	7	5	3	0	3	2	0	56
鉱さい	152	4			21		21	17		136
がれき類	736			1	64	0	64	55		681
ばいじん	1,536	34	20	76	0	0	0	0		1,440
13号廃棄物	0									0
動物のふん尿										
動物の死体										
その他	10				0	0	0			10
感染性廃棄物	2				0	0	0			2
混合廃棄物	7				0	0	0			7
その他	1									1

表4-4 業種別にみた多量排出事業者等の産業廃棄物発生量及び処理・処分量

(単位：千t/年)

処理・処分 種類	自社処理									委託 処理量
	排出量	有価物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理量	減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処 分量	
合計	6,204 (100.0%)	231 (3.6%)	52 (0.8%)	113 (1.8%)	3,343 (51.9%)	3,053 (47.4%)	290 (4.5%)	84 (1.3%)	73 (1.1%)	2,830 (44.0%)
農業・林業										
漁業										
鉱業										
建設業	856	0		1	73	1	72	61		793
製造業計	2,770	19	32	6	2,393	2,249	144	23	73	388
食料品	20	0			11	10	1			10
飲料・飼料	4	0								4
繊維										
木材	1									1
家具										
パルプ・紙	1,446	2			1,397	1,362	35	3		81
印刷	17	0			7	5	2	2		11
化学	858	1	20	2	783	709	75		72	57
石油・石炭										
プラスチック	0									0
ゴム	3									3
皮革										
窯業・土石	80		7	4	13	11	2		0	57
鉄鋼	12									12
非鉄金属	80		0		69	66	3	0		13
金属	21	4			18	18	0			4
はん用機器										
生産用機器										
業務用機器	4	0								4
電子部品	26	1	0		14	12	2	0	1	13
電気機器	52				40	37	3	1		14
情報通信機器	19	1			19	18	1			1
輸送用機器	126	10	5		22	1	21	17		103
その他製造業	0									0
電気・ガス・水道業	2,572	212	20	107	877	803	74	0		1,642
電気業	1,689	212	20	107	3	3	0			1,560
ガス業										
熱供給業										
上水道業	62				59	56	3			7
工業用水道業										
下水道業	820				815	745	71	0		75
情報通信業										
運輸・郵便業	0									0
卸・小売業										
金融・保険業										
不動産業・物品賃貸業										
専門サービス業										
宿泊業・飲食サービス業										
生活サービス業	0				0	0	0			0
教育・学習支援業										
医療・福祉業	3				0	0	0			3
複合サービス業										
サービス業	4				1	0	0	0		4
公務										
その他										

## 第5章 産業廃棄物の処理状況

### 5.1 再生利用状況

#### 1 再生利用状況

排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量は、表 5-1 及び図 5-1 のとおりであり、種類別（再生利用時点の種類）にみると、がれき類が 1,672 千トン（42%）と最も多く占め、以下、ばいじんが 1,355 千トン（34%）、燃え殻が 219 千トン（6%）、汚泥が 199 千トン（5%）となっている。

業種別にみると、建設業が 1,928 千トン（49%）と最も多く占め、以下、電気・ガス・水道業が 1,486 千トン（38%）、製造業が 371 千トン（9%）等となっている。

表 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

(単位：千t/年)

業種 再生利用 時点の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	3,956 (100%)	75 (2%)	1,928 (49%)	371 (9%)	1,486 (38%)	6 (0%)	7 (0%)	1 (0%)	66 (2%)	16 (0%)
燃え殻	219 (6%)	0	1	92	123	0	0	0	3	0
汚泥	199 (5%)	75	42	52	20	0	0	0	8	1
廃油	12 (0%)		0	5	0	0	0	0	6	0
廃酸	3 (0%)		0	3				0	0	0
廃アルカリ	2 (0%)		0	1	0	0	0	0	1	0
廃プラスチック類	63 (2%)		20	17	0	1	4	0	19	1
紙くず	5 (0%)		3	1						
木くず	155 (4%)		151	3		0	0		0	0
繊維くず	1 (0%)		1							
動植物性残さ	17 (0%)			17						
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず	32 (1%)		15	7	0	0	0	0	7	1
ガラス陶磁器くず	126 (3%)	0	15	87	4	4	1	0	9	5
鉱さい	70 (2%)		0	44	25		0		1	0
がれき類	1,672 (42%)		1,670	1	0				2	0
ばいじん	1,355 (34%)		0	41	1,314				0	0
動物のふん尿	7 (0%)									7
その他	19 (0%)		9	0	0	0	0	0	9	0

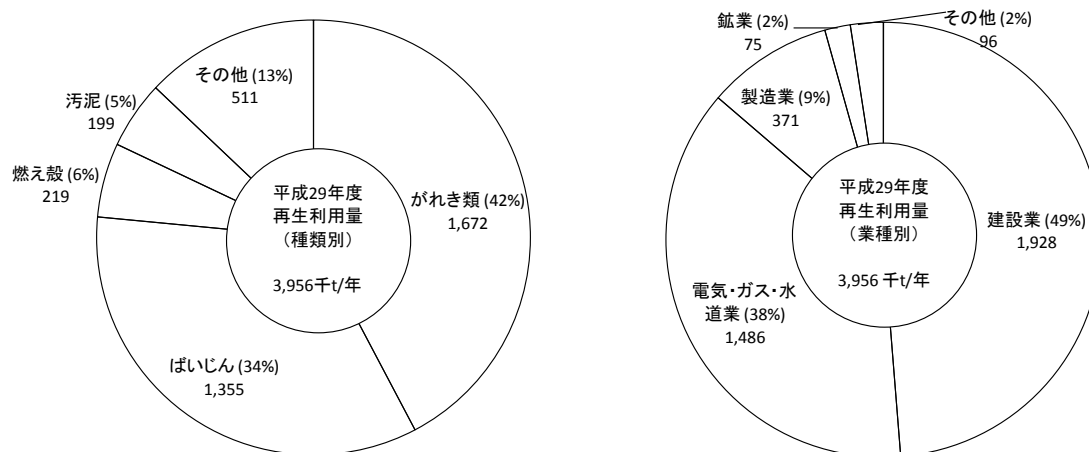


図 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量



## 2 産業廃棄物の資源化状況の解析

産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データから処理状況を整理し産業廃棄物の種類ごとの資源化状況を整理した結果は、**図 5-2** 及び**表 5-2** のとおりである。

なお、ここでは、県内の中間処理業者で中間処理（県外搬入物を含む）、及び県外の中間処理業者で資源化されたものを以下の用途別に集計した。

資源化用途別にみると、建設資材が**1,910**千トンで最も多く、以下、セメント原料が**1,301**千トン、工業用原料等が**952**千トン、堆肥化が**59**千トン、燃料が**35**千トンとなっている。

### ①工業用原料等（952千トン）

汚泥、廃酸、廃プラスチック、木くず、鉱さい、ばいじん等を工業用原料として再使用又は、再生用途が多様で特定の用途に区分ができないもの及び詳細な用途が不明なもの。

### ②建設資材（1,910千トン）

がれき類等を破碎、選別等し、建設資材として資源化。

### ③セメント原料（1,301千トン）

セメント工場で原（燃）料として資源化。主に火力発電所のばいじん。

### ④堆肥化（59千トン）

堆肥として資源化。主に有機性汚泥や動植物性残さ。

### ⑤燃料（35千トン）

破碎・選別・圧縮等により燃料として資源化。主に廃プラスチック、木くず、廃油。

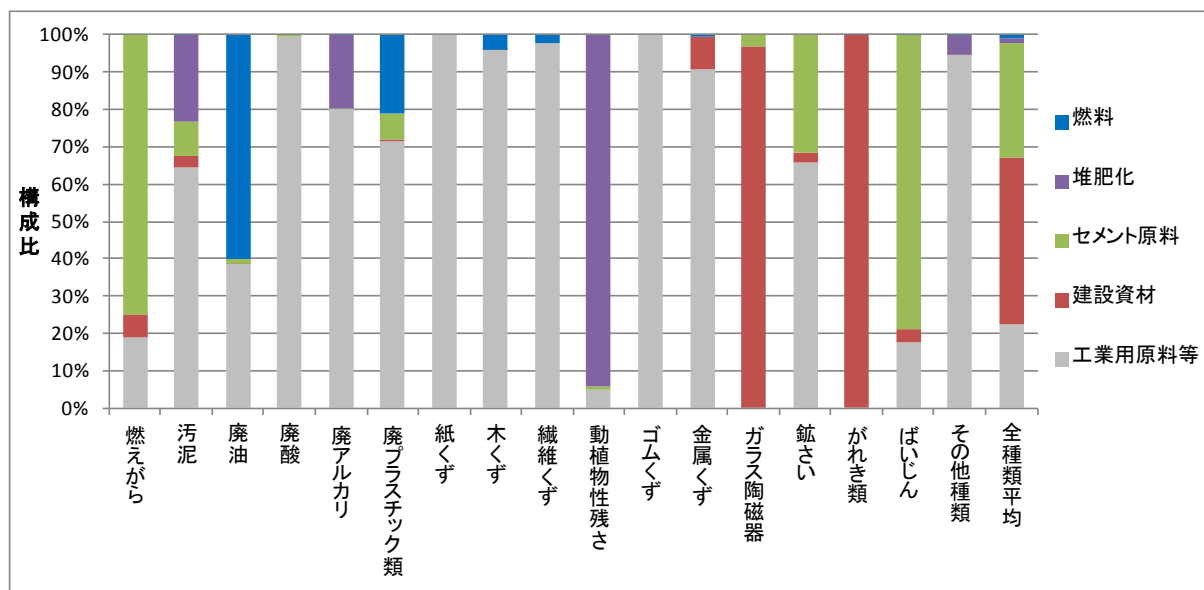


図 5-2 産業廃棄物の資源化の状況

表 5-2 種類別及び資源化用途別の資源化状況

(千t/年)

種類 \ 用途	工業用 原料等	建設資材	セメント 原料	堆肥化	燃料	計
燃えがら	22	7	86			115
汚泥	87	4	12	31	0	135
廃油	5	0	0		8	13
廃酸	53		0	0		53
廃アルカリ	1		0	0	0	2
廃プラスチック類	60	1	6		18	84
紙くず	5					5
木くず	205	0	0	0	8	213
繊維くず	1				0	1
動植物性残さ	1		0	20		21
ゴムくず	0					0
金属くず	27	3			0	30
ガラス陶磁器	0	93	3			96
鋳さい	95	4	46			145
がれき類		1,749			0	1,749
ばいじん	253	50	1,148		0	1,451
その他種類	136	0		7	0	144
計	952	1,910	1,301	59	35	4,257

## 5.2 最終処分状況

### 1 最終処分量

種類別及び業種別の産業廃棄物の最終処分量は、表 5-3 及び図 5-3 のとおりである。

種類別（処分時点の種類）にみると、ばいじんが 181 千トン（33%）と最も多く、以下、汚泥が 147 千トン（27%）、燃え殻が 70 千トン（13%）、がれき類が 47 千トン（9%）となっている。

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 266 千トン（49%）と最も多く、以下、建設業が 132 千トン（24%）、製造業が 117 千トン（22%）等となっている。

表 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

(単位：千t/年)

業種 処分 時点の 種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	544 (100%)	0 (0%)	132 (24%)	117 (22%)	266 (49%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (0%)	24 (4%)	2 (0%)
燃え殻	70 (13%)	0	18	5	43	0	0	1	3	1
汚泥	147 (27%)		9	86	40	0	0	0	10	1
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	23 (4%)		13	6	0	0	0	0	4	0
紙くず	0 (0%)		0	0						
木くず	7 (1%)		7	0						
繊維くず	0 (0%)		0							
動植物性残さ	0 (0%)			0						
ゴムくず	0 (0%)			0						
金属くず	1 (0%)		0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	35 (6%)		18	12	2	0	0	0	3	0
鉱さい	11 (2%)		4	7					0	0
がれき類	47 (9%)		47	0					0	0
ばいじん	181 (33%)		0	0	181			0	0	
動物のふん尿	0 (0%)									0
その他	19 (4%)		14	2	0	0	0	1	2	0

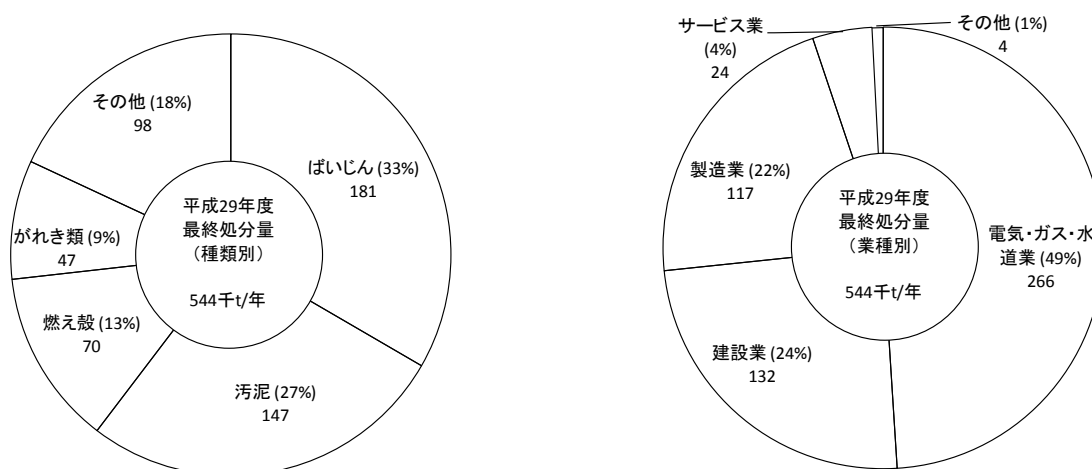


図 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

## 2 最終処分場残余年数の推計

県内の産業廃棄物処理業者から報告のあった最終処分場の残余容量と処分実績量の関係から、平成30年3月31日時点の最終処分場の残余年数を推計した結果は、以下のとおりである。

なお、残余年数の推計においては、自社処分場及び特定の事業場から排出された産業廃棄物のみを受け入れている最終処分場は除外した。

### (1) 最終処分場の稼働状況

平成30年3月31日時点における最終処分場の稼働状況は、表5-4のとおりである。

最終処分場の残余容量がある施設は21施設であり、管理型が9施設、安定型が12施設となっている。

これらの残余容量は、3,529千 $m^3$ となっており、管理型が1,950千 $m^3$ 、安定型が1,579千 $m^3$ となっている。

表 5-4 最終処分場の稼働状況（平成30年3月31日時点）

	計	県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	福島市	郡山市	いわき市
施設数 計	21	2	2		2		1	4	1	9
管理型	9	1	1		2			2	1	2
安定型	12	1	1				1	2		7
残余容量 計(千 $m^3$ )	3,528.7	69.2	242.6		362.9		31.8	1,506.9	18.9	1,296.5
管理型	1,949.7	66.2	26.3		362.9			1,358.4	18.9	117.0
安定型	1,579.0	2.9	216.3				31.8	148.4		1,179.6

### (2) 最終処分場の残余年数の推計

平成30年3月31日時点の残余容量と当該最終処分場の平成29年度処分実績量は図5-4のとおりである。各最終処分場の許可上の容量から算出される、平成30年3月31日現在の残余容量を用いて計算した。

既存の最終処分場での平成29年度処分実績量と同等量が今後も最終処分されるものと仮定し残余年数を推計すると、管理型で8.5年、安定型で11年となっている。

なお、ここでの埋立廃棄物の比重は、1t/ $m^3$ と設定している。

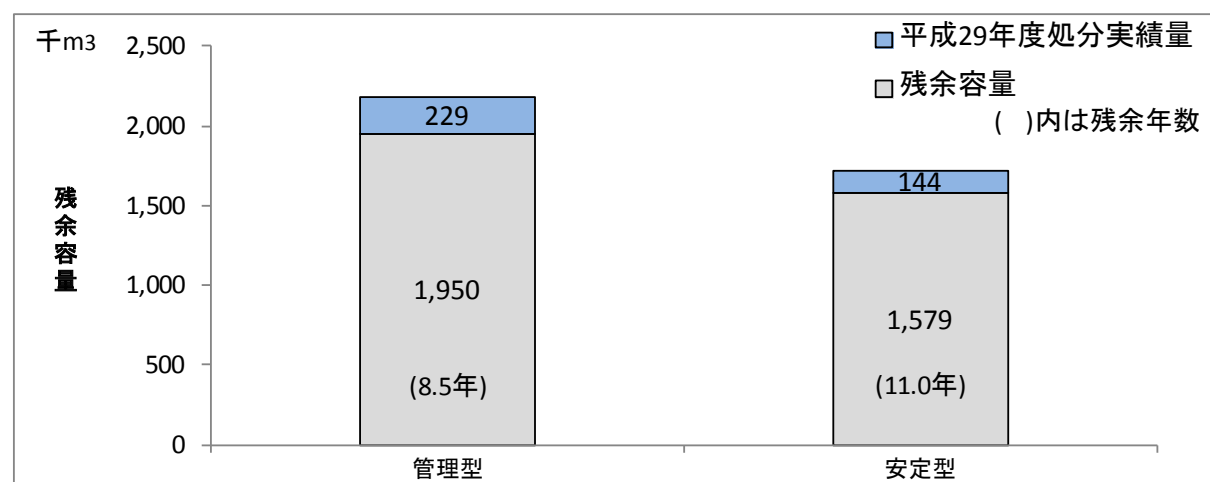
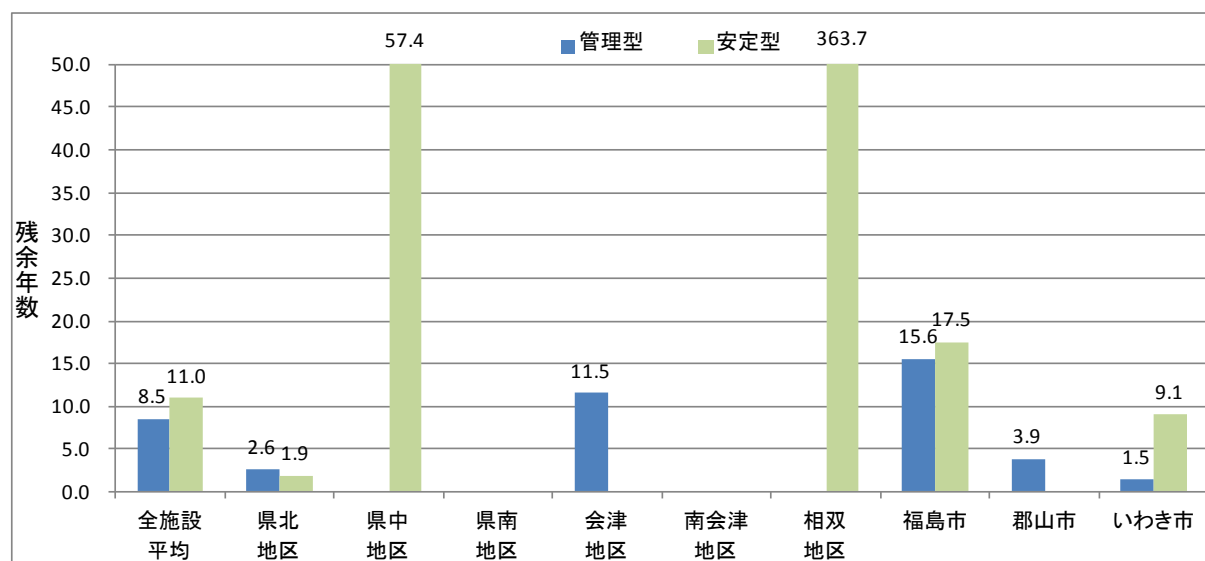


図 5-4 最終処分場の残余年数の推計（実績量基準）

また、地区別の残余年数をみると図 5-5 のとおりである。残余年数は地区ごとに偏りがみられる。



※県中地区は、管理型最終処分場はあるが平成 29 年度に最終処分されていないため残余年数は示していない。

図 5-5 地区別の最終処分場の残余年数の推定 (平成 29 年度の最終処分実績を基準)

福島県廃棄物処理計画 (平成 27 年 3 月) では、平成 24 年度の最終処分率 12%を平成 32 年度に 8%以下とする削減目標を設定している。

平成 29 年度の最終処分率は 7%と目標を達成しており、平成 29 年度以降の最終処分量が平成 29 年度と同等量で推移すると仮定すると、既存の最終処分場の残余年数は前述のとおり管理型で 8.5 年、安定型で 11 年と推計される。

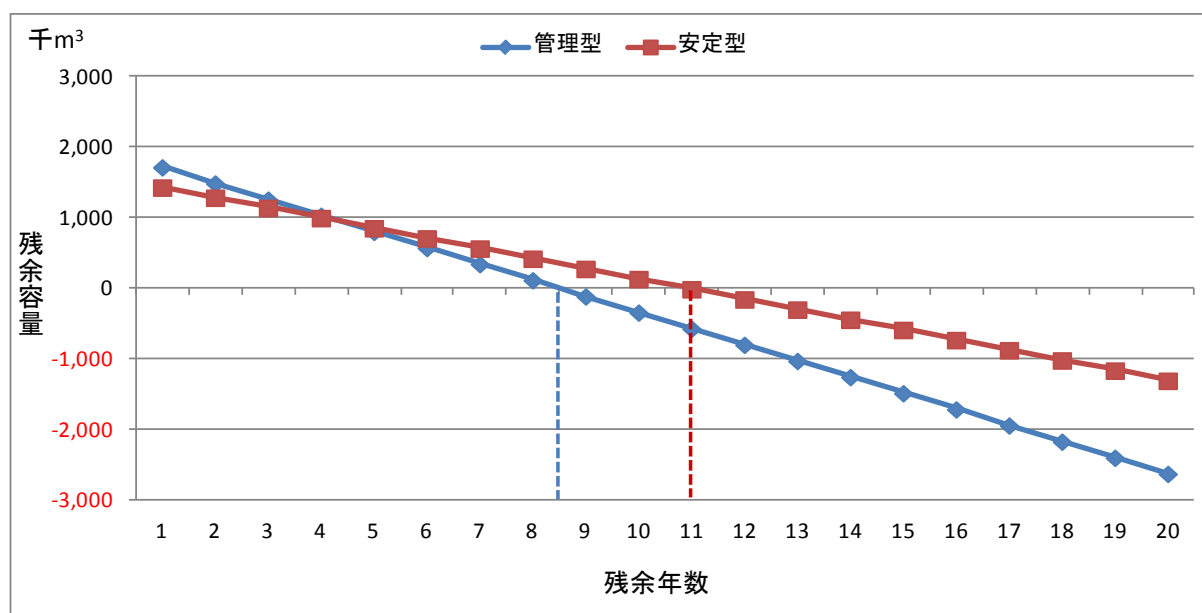


図 5-6 最終処分場の残余年数の推計

## 第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析

産業廃棄物管理交付等状況報告(廃棄物処理法第12条の3第7項)について、解析を行った結果は、以下のとおりである。

### 6.1 データ整備等の内容

#### 1 電子データベース化

産業廃棄物管理票交付等状況報告書について、以下の電子データベース化を行った。

なお、電子マニフェスト登録等状況報告書のデータについても、共通項目のレイアウトに変更し、情報を統合した。

<p>&lt;台帳&gt;          ①報告者氏名 ②事業場の名称 ③事業場の所在地 ④業種コード</p> <p>&lt;廃棄物データ&gt;          ⑤行番号 ⑥産業廃棄物の種類コード ⑦排出量 ⑧管理票の交付枚数          ⑨運搬受託者の許可番号 ⑩運搬受託者の氏名又は名称 ⑪運搬先のコード          ⑫処分受託者の許可番号 ⑬処分コード ⑭処分受託者の氏名又は名称          ⑮処分場所のコード</p>
--

#### 2 各種のデータ整備

6.1.1 で作成した統合データに対して、区間委託の制御、単位、種類コード、地域コード等の確認、整備を行った。

#### 3 報告者及び事業場の整理

本解析においては、報告者台帳作成に当たって同一事業場等のマッチング作業を行うために、3つの項目から報告者を識別するコード(ID)化を行った。

本報告書で用いた用語		報告者及び事業場の整理
報告書件数		受理した報告書の件数。ただし、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告書については、電子マニフェスト交付単位(1件)で電子化されているため、報告者名称、種類、事業場名称、事業場住所が同一のものは1報告書として集計した。
報告者	報告企業(ID1)	報告者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。
	報告事業者(ID2)	ID1を更に、「本店、支店、営業所」等の名称、「報告者の住所(市町村)」でマッチングしたもの
	報告事業場(ID3)	ID2を更に、事業場名称、「事業場の住所(市町村)」でマッチングしたもの

## 6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

### 1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況は、表 6-1、表 6-2 のとおりである。

平成 29 年度実績として福島県(福島市、郡山市、いわき市を含む)に報告された産業廃棄物管理票交付状況報告書に基づく報告件数は 8,226 件、産業廃棄物管理票交付枚数(以下、「交付枚数」という)は 472,072 枚、排出量は 2,381 千トンとなっている。また、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告件数は 9,401 件、交付枚数 261,585 枚、排出量は 2,313 千トンとなっており、両者のあわせた(以下、「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」という)報告件数が 17,627 件、交付枚数が 733,587 枚、排出量が 4,694 千トンとなっている。

また、本解析にて整理した報告者及び事業場数では、報告企業数(ID1)が 7,210 件、報告事業者数(ID2)が 7,488 件、報告事業場数が 17,236 件であった。(表 6-1)

電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく交付枚数は増加している。(表 6-2)

表 6-1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

		報告書件数	報告企業数 (ID1)	報告事業者数 (ID2)	報告事業場数 (ID3)	産業廃棄物 管理票 交付枚数	排出量 (t)
県 所 管	産業廃棄物管理票交付状況報告書	4,001	2,154	2,276	3,966	237,336	1,431,630
	電子マニフェスト登録等状況報告書	4,277	964	1,013	4,119	136,130	1,615,473
	(3市除く)	8,278	3,118	3,289	8,085	373,466	3,047,104
福 島 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,341	834	847	1,332	58,936	126,145
	電子マニフェスト登録等状況報告書	1,623	419	431	1,570	32,404	75,090
		2,964	1,253	1,278	2,902	91,340	201,234
郡 山 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,349	914	940	1,324	78,061	261,819
	電子マニフェスト登録等状況報告書	1,818	533	548	1,785	33,273	63,310
		3,167	1,447	1,488	3,109	111,334	325,129
い わ き 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,535	911	943	1,514	97,669	561,804
	電子マニフェスト登録等状況報告書	1,683	481	490	1,626	59,778	558,812
		3,218	1,392	1,433	3,140	157,447	1,120,616
合 計	産業廃棄物管理票交付状況報告書	8,226	4,813	5,006	8,136	472,002	2,381,398
	電子マニフェスト登録等状況報告書	9,401	2,397	2,482	9,100	261,585	2,312,686
		17,627	7,210	7,488	17,236	733,587	4,694,084

表 6-2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況の推移

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
交 付 枚 数	産業廃棄物管理票交付状況報告書	491,927	480,671	473,438	464,617	475,200	472,002
	電子マニフェスト登録等状況報告書	107,276	140,757	184,102	222,392	235,216	261,585
	計	599,203	621,428	657,540	687,009	710,416	733,587
排 出 量 (千t)	産業廃棄物管理票交付状況報告書	2,685	4,272	3,488	2,233	2,265	2,381
	電子マニフェスト登録等状況報告書	1,157	1,233	1,719	2,202	2,128	2,313
	計	3,842	5,505	5,207	4,435	4,393	4,694

## 2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出状況

種類別の産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数は、表 6-3、表 6-4 のとおりである。

産業廃棄物の種類別に排出量をみると、ばいじんが 1,994 千トンで最も多く、以下、がれき類が 1,325 千トン、汚泥が 343 千トン、鉱さいが 192 千トン等となっている。(表 6-3)

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 2,160 千トンで最も多く、以下、建設業が 1,478 千トン、製造業 660 千トン等となっている。(表 6-4)

なお、産業廃棄物管理票交付等状況報告書データには、電気業から排出されるばいじんのうち、自社処分場へ運搬された運搬実績及び船積貯槽へ運搬された運搬実績が含まれている。

また、県内の中間処理業者における中間処理後の残さ物の他社への委託処理（2次マニフェスト）による交付分が含まれている。

表 6-3 種類別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)					交付枚数				
	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市
計	4,694	3,047	201	325	1,121	733,587	373,466	91,340	111,334	157,447
燃え殻	183	125	0	3	54	12,866	9,092	68	722	2,984
汚泥	343	130	17	36	160	41,762	19,173	2,383	5,576	14,630
廃油	42	21	1	3	17	40,411	19,125	5,477	7,892	7,917
廃酸	15	9	0	2	4	5,142	2,779	474	916	973
廃アルカリ	38	25	1	3	8	8,015	4,908	650	1,134	1,323
廃プラスチック類	170	110	15	22	24	143,206	68,639	23,422	24,377	26,768
紙くず	7	4	1	1	1	12,100	5,336	2,059	2,285	2,420
木くず	174	106	9	12	46	68,437	35,485	6,630	8,132	18,190
繊維くず	3	1	0	0	1	2,324	1,043	239	384	658
動植物性残さ	17	11	1	4	1	5,408	2,289	619	2,221	279
動植系固形不要物	0	0	0	0	0	47	0	0	47	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	70	42	2	12	14
金属くず	29	16	2	4	6	23,580	9,501	2,964	5,963	5,152
ガラス・陶磁器くず	79	33	15	8	24	41,946	17,308	9,536	6,421	8,681
鉱さい	192	136	20	2	33	15,725	11,514	1,439	184	2,588
がれき類	1,325	758	103	216	248	216,610	125,220	20,788	33,005	37,597
動物のふん尿	2	2	0	0	0	613	613	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	60	37	6	5	12
ばいじん	1,994	1,515	0	0	480	26,735	13,110	40	3	13,582
コンクリート固化物	0	0	0	0	0	11	9	0	2	0
その他	81	47	14	7	13	68,519	28,243	14,544	12,053	13,679
感染性廃棄物	20	16	1	2	1	28,377	11,152	6,816	5,976	4,433
混合廃棄物等	60	31	12	5	12	40,142	17,091	7,728	6,077	9,246



表 6-4 業種別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)					交付枚数				
	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市
計	4,694	3,047	201	325	1,121	733,587	373,466	91,340	111,334	157,447
農業・林業	5	2	0	2	1	1,299	773	6	327	193
漁業	0				0	1				1
鉱業	1	1	0	0	0	570	360	166	35	9
建設業	1,478	858	110	233	276	352,332	192,494	39,644	52,124	68,070
製造業	660	328	51	33	249	121,343	65,198	10,612	14,181	31,352
電気・ガス・水道業	2,160	1,635	2	2	521	38,506	21,284	389	303	16,530
情報通信業	4	2	1	1	1	2,118	890	500	409	319
運輸・郵便業	6	4	0	2	0	5,296	2,203	313	2,152	628
卸・小売業	54	40	5	4	5	74,130	33,332	13,888	11,736	15,174
金融・保険業	0	0	0	0	0	142	43	48	33	18
不動産業・物品賃貸業	6	4	0	1	1	3,723	1,478	528	1,368	349
専門サービス業	1	1	0	0	0	1,511	636	234	415	226
宿泊業・飲食サービス業	1	1	0	0	0	8,390	3,238	1,954	1,840	1,358
生活関連サービス業	1	1	0	0	0	1,034	625	88	101	220
教育・学習支援業	1	0	1	0	0	1,313	35	953	153	172
医療・福祉業	22	17	1	3	1	57,558	23,067	14,212	11,974	8,305
複合サービス業	1	0	1	0	0	1,362	391	396	354	221
サービス業	248	128	28	28	65	57,185	24,005	7,229	12,082	13,869
公務	43	25	0	18	0	5,715	3,394	180	1,708	433
その他	0	0		0		59	20		39	

### 6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成

産業廃棄物の処分業者、収集運搬業者の平成 29 年度実績データから、委託者（排出事業者）を整理し、以下のとおり「産業廃棄物管理交付等状況報告」（廃棄物処理法第 12 条の 3 第 6 項）の対象となる事業者の台帳を作成した。

また、産業廃棄物管理交付等状況報告書で作成した台帳同様(6.1)に、3 つの項目から排出者を識別するコード(ID)化を行った。

表 6-5 排出者及び事業場の整理方法

本報告書で用いた用語		排出者及び事業場の整理
排出者	排出企業(IDa)	委託者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。また、郡山市、いわき市は、単独で整理した。
	排出事業者(IDb)	IDa を更に、「本店、支店、営業所」等の名称でマッチングしたもの
	排出事業場(IDc)	IDb を更に、「委託者の住所(市町村)」でマッチングしたもの

このマッチングの作業により、産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数は 37,153 件であり地域別の対象者数は、表 6-6 のとおりである。なお、このうち産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データにおいて、詳細な住所が記載されていないものが 403 件あった。

表 6-6 産業廃棄物の処分業者・収集運搬実績から整理した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数

	排出企業数 (IDa)	排出事業者数 (IDb)	排出事業場数 (IDc)
県所管	18,456	20,107	21,056
県北地区			4,101
県中地区			4,001
県南地区			3,413
会津地区			4,704
南会津地区			602
相双地区			3,832
詳細不明			403
福島市	4,335	4,678	4,678
郡山市	4,997	5,395	5,395
いわき市	5,567	6,024	6,024
合計	29,020	31,526	37,153

\*1:IDa、IDbは、事業場住所を考慮しないため地区別の内訳は非表示とした。

\*2:郡山市、いわき市はIDaの整理時点で同市を分離しているため、IDbとIDcは同数となる。

作成した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者は、別添のCD-ROMに格納した。なお、この報告対象者リストのイメージは、表 6-7のとおりであり、対象者の地区、市町村コード、名称で構成される。

表 6-7 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストのイメージ

(IDa)	(IDb)	(IDc)	地区	市町村CD	排出事業場名称
500001	01	001	T1:県北	071111	〇〇〇〇(株)〇〇工場
500001	02	001	T1:県北	071111	〇〇〇〇(株)△△工場

参考データ



統計表1 産業廃棄物の排出量〔平成29年度〕

業種	種類	単位：t											単位：t/年												
		合計	燃え殻	汚泥	廃油	焼酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物系固形不燃物	ゴムくず	金属くず	ガラス製磁器くず	繊維くず	ばいじん	13号廃棄物	動物のふん尿	動物の死体	その他	燃焼性廃棄物	混合廃棄物	その他
合計		7,844	165	3,496	31	23	94	141	6	196	2	18	0	34	163	167	1,720	1,536	7	7	0	45	3	30	12
農業	林業	8	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0
	畜産	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0
	林業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漁業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱業		162	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業		2,116	13	71	1	0	1	36	4	192	2	18	0	16	33	5	1,717	0	0	0	25	0	16	9	0
製造業	計	2,816	7	2,320	18	17	81	68	2	4	18	16	0	8	99	130	1	41	0	0	2	0	2	0	0
	食品	39	0	21	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飲料・飼料	6	0	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木材	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パルプ・紙	1,405	5	1,342	0	0	0	34	1	0	0	0	0	0	0	1	0	21	0	0	1	0	0	0	0
	印刷	11	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学	845	0	799	10	5	26	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プラスチック	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴム	7	0	0	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窯業・土石	99	0	17	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鉄鋼	29	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非鉄金属	76	1	69	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属	21	0	18	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	はたけ用機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	業務用機器	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電子部品	26	11	1	5	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電気機器	47	26	0	2	14	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情報通信機器	19	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	輸送用機器	119	0	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	5	0	106	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他製造業	58	1	5	3	1	4	12	0	0	0	0	0	0	1	4	0	19	0	0	0	0	0	0	0
	電気・ガス・水道業	2,579	143	905	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	30	0	1,495	0	0	0	0	0	0	0
	電気業	1,692	142	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	30	0	1,495	0	0	0	0	0	0	0
	ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	熱供給業	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	工業用水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下水道業	821	1	819	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	運輸業	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	郵便業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	卸売業	7	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金融業	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保険業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不動産業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	宿泊業	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飲食業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活サービス業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	教育	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学童支援業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医療	7	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福祉業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	複合サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サービス業	150	1	33	10	6	11	28	0	0	0	0	0	8	13	3	2	0	0	0	14	0	0	12	2
	公務	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

統計表2 産業廃棄物の発生及び処理状況〔種類別〕〔平成29年度〕(その1) (単位:千t/年)

区分 種類	発生量		有償物量		保管量		排出量		自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量	
	(A) (B+Z1+C)	(B)	(Z1)	(C) (D+G)	(D)	(T1)	(自己中間処理後量)		(自己中間処理後の処理内訳)		(G)	(自己未処理の処理内訳)		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外							
							うち焼却 量	汚泥脱水 減量	(E)	(E1)		(E2)	(E3)					(Z2)	(G1)	(G2)	(G3)			
																						再生利用 量	自己最終 処分量	委託処理 量
合計	8,076	231	1	7,844	3,582	71	3,021	437	230	73	133	1	4,261	52	115	4,095	4,416	188	188					
燃え殻	208	43		165	1	1		0					164		27	137	164	27	27				27	
汚泥	3,631	135	0	3,496	3,312	11	3,012	264	75	73	115	1	184	20	4	161	353	77	77				77	
廃油	33	1	1	31	1	1							30	0		30	30							
廃酸	24	1		23	7	2	2	0	0	0	0		17			17	17							
廃アルカリ	94	0		94	53	16	8	2	1	1			41	0		41	42							
廃プラスチック類	141	0	0	141	43	38		7	5	1			99	0	0	98	100	0	0				0	
紙くず	8	2		6	2	1	1	1	1	0			4			4	4							
木くず	196	0		196	21	1		19	19	1			175			175	176							
繊維くず	2			2	0	0		0	0	0			2			2	2							
動植物性残さ	18	0		18									18			18	18							
動物系固形不燃物																								
ゴムくず	0			0									0			0	0							
金属くず	44	10	0	34	1			1	1				32	5	0	27	27	0	0				0	
ガラス陶磁器くず	163	0	0	163	4	0		4	4	0	1		158	7	5	146	152	5	5				5	
鉱さい	171	4		167	21			21	17		4		146			146	150							
がれき類	1,720			1,720	116			116	107		9		1,604		2	1,602	1,613	2	2				2	
ばいじん	1,570	34	0	1,536	0			0	0		0		1,536	20	76	1,440	1,516	76	76				76	
13号廃棄物																								
動物のふん尿	7			7									7			7	7							
動物の死体	0			0									0			0	0							
その他	45			45	1	0		1	0		0		45			45	45							
感染性廃棄物	3			3	0	0		0	0		0		3			3	3							
混合廃棄物	42			42	1			1	0		0		41			41	42							

統計表2 産業廃棄物の発生及び処理状況〔種類別〕〔平成29年度〕〔その2〕

種類	区分委託処理量		委託処理量の内訳		委託中間処理量				委託中間処理後量			再生利用量		最終処分量		(処理主体の内訳)	
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(O) (H+O+M2)	(Q1)	(Q3)	(処理主体の内訳)		
			県内	県外		域内	域外		保管量 (Z3)	再生利用量 (M1)					最終処分量 (M2)	事業者	処理業者
(O-L)	267	258	8	3,962	2,286	97	1,675	1,414	3,764	3,674	89	3,956	544	188	356		
合計	4,228	267	258	8	3,962	2,286	97	1,675	1,414	3,764	3,674	89	3,956	544	188	356	
燃え殻	137	29	29	0	108	18	2	90	87	108	108	1	108	56	27	29	
汚泥	275	60	60	1	215	115	20	100	34	136	122	14	217	152	77	75	
廃油	30	0	0	0	30	15	11	15	6	13	12	1	13	1	1	1	
廃酸	17	0	0	0	17	4	2	13	2	3	3	0	3	0	0	0	
廃アルカリ	42	0	0	0	42	16	14	26	8	2	2	1	2	1	1	1	
廃プラスチック類	100	12	12	0	87	59	12	28	5	75	63	12	68	25	0	25	
紙くず	4	0	0	0	4	4	1	1	0	4	3	0	5	0	0	0	
木くず	176	4	4	4	172	141	18	32	14	144	137	7	155	11	11	11	
繊維くず	2	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	
動植物性残渣	18	0	0	0	18	10	1	7	0	17	17	0	17	1	1	1	
動物系固形不要物																	
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	27	1	1	0	26	24	1	3	0	26	26	0	32	1	0	1	
ガラス陶磁器くず	147	14	14	0	133	122	0	12	1	133	117	17	127	35	5	30	
紐さい	150	11	7	4	139	36	8	103	78	139	139	0	155	11	11	11	
がれき類	1,611	28	28	0	1,583	1,569	0	14	0	1,583	1,566	18	1,672	47	2	46	
ばいじん	1,440	105	105	0	1,335	108	1	1,227	1,177	1,335	1,335	0	1,355	182	76	105	
13号廃棄物																	
動物のふん尿	7				7	7		0		7	7	0	7	0	0	0	
動物の死体	0				0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	
その他	45	3	3	0	42	38	7	5	1	36	19	18	19	20		20	
感染性廃棄物	3				3	2	2	1	0	1	0	1	0	1		1	
混合廃棄物	42	3	3	0	39	35	4	4	0	35	18	17	19	20		20	

(単位:千t/年)

統計表3 産業廃棄物の発生及び処理状況〔業種別〕〔平成29年度〕〔その1〕

区分	発生量		有償物量		保管量		排出量		自己中間処理量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量																
	(A)		(B)		(Z1)		(C)		(D)		(E)		(E1)		(E2)		(E3)		(Z2)		(G)		(G1)		(G2)		(G3)		(H)		(I)				
	(B+Z1+C)		(D+G)		(E+G)		(T1)		(E)		(E1)		(E2)		(E3)		(E2)		(E3)		(E2)		(G)		(G1)		(G2)		(G3)		(H+K+J)		(I)		
	発生量		有償物量		保管量		排出量		自己中間処理後量		自己中間処理後の処理内訳		再生利用量		自己最終処分量		委託処理量		保管理量		自己未処理の処理内訳		再生利用量		自己最終処分量		委託処理量		搬出量		自己最終処分量				
業種	(A)		(B)		(Z1)		(C)		(D)		(E)		(E1)		(E2)		(E3)		(Z2)		(G)		(G1)		(G2)		(G3)		(H)		(I)				
合計	8,076	231	1	7,844	3,582	71	3,021	437	230	73	133	1	4,261	52	115	4,095	4,416	188	188	188	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
農業・林業	8			8																															
漁業	0			0																															
鉱業	162			162	162	86	75	75																											
建設業	2,116	0		2,116	142	1		141	129	11																									
製造業	2,836	19	1	2,816	2,401	61	2,165	147	25	73	49																								
電気・ガス・水道業	2,791	212	0	2,579	877	9	770	74	0	73	1																								
情報通信業	0			0																															
運輸・郵便業	7			7																															
卸・小売業	7			7																															
金融・保険業	3			3																															
不動産業・物品賃貸業	1			1																															
学術研究・技術サービス業	0			0																															
宿泊業・飲食サービス業	4			4																															
生活関連サービス業	1			1	0			0																											
教育・学習支援業	1			1																															
医療・福祉業	7			7	0	0		0																											
複合サービス業	0			0																															
サービス業	130			130	1			1	0	0																									
公務	2			2																															

(単位:千t/年)



統計表3 産業廃棄物の発生及び処理状況〔業種別〕〔平成29年度〕〔その2〕

(単位:千t/年)

業種	区分委託処理量		委託処理量の内訳		委託中間処理量				委託中間処理後量			再生利用量		最終処分量	
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(Q) (H+O+M2)	(Q1)	(Q3)	
			県内	県外		うち焼却量	うち焼却量		保管量 (Z3)	再生利用量 (M1)					最終処分量 (M2)
			県内	県外		うち焼却量	うち焼却量								
(O+L)	(O)	(K)	(L)	(M)	(Z3)	(M1)	(M2)	(R)	(Q)	(Q1)	(Q3)				
合計	4,228	267	258	8	3,962	2,286	97	1,675	1,414	3,674	89	544	188	356	
農業・林業	8	0	0	0	8	8	0	0	0	8	0	0	0	0	
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
建設業	1,983	71	67	4	1,913	1,848	25	64	15	1,858	60	132	2	130	
製造業	426	28	23	5	398	164	39	235	108	324	11	117	79	38	
電気・ガス・水道業	1,648	158	158	0	1,491	167	12	1,323	1,282	1,468	2	266	107	160	
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
運輸・郵便業	7	0	0	0	7	6	0	1	0	7	0	6	0	0	
卸・小売業	7	0	0	0	7	3	0	4	0	7	0	7	0	0	
金融・保険業	3	0	0	0	3	3	0	0	0	3	0	3	1	1	
不動産業・物品賃貸業	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
学術研究・技術サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宿泊業・飲食サービス業	4	0	0	0	4	3	0	1	0	4	0	3	0	0	
生活関連サービス業	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
教育・学習支援業	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	
医療・福祉業	7	0	0	0	6	5	3	1	0	3	1	1	2	2	
複合サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
サービス業	129	9	9	0	120	76	16	44	8	80	14	66	0	24	
公務	2	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	

